

# アマチュア無線の切手

## その1 アマチュア無線切手収集へのお誘い

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 *Taizo Arakawa*  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員



写真1 日本の「アマチュア無線50年」の切手発行のミニポスター。これは郵政省発行であるが、同デザインでJARLからも発行されている

写真2 1977年9月24日、東京のホテルオークラで開かれたアマチュア無線50年記念式典会場で、小宮山郵政大臣(右)から記念の切手帳を受け取るJARL原会長(左)。写真の右端に来賓としての草間貴吉氏の姿も見える

### 切手もKing of Hobby

アマチュア無線がKing of Hobbyと言われるように、切手の蒐集もまたKing of Hobbyと言われ、世界中にその愛好家(郵趣家)がいます。今ではQSLカードの交換はほとんどがビューロー経由であり、また電子QSLカードも普及しているので、QSLカードの交換に郵便を使うことが少なくなりました。それでもDX局との交信などでダイレクトにQSLカードの交換をすると、その国の珍しい切手が貼って届けられることがあります。そのような切手を集めることから郵趣家になられたハムも少なくないと思います。

このようにアマチュア無線と切手の蒐集の両方を趣味とする人も少なくなく、世界には愛好者の団体も数多くあると思いますが、筆者は国際的なクラブとして、ドイツのDLAUE Mr. Manfred G. Bussemerが会長を務める「HAM STAMPS CLUB (1982年に故LA5NM/JW5NM Mr.

Math Bjerrangが立ち上げたクラブ)」と、わが国では、JA4HCK 馬場秀雄氏が、2004年に発足させた「日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)」の会員でもあります。

さて、「通信」と言えば郵便(手紙)などのほか、手旗信号や腕木通信なども含まれ、世界中で莫大な数の切手が発行されています。その中でも「電気通信」→「無線通信」→「アマチュア無線」と範囲を絞っていくと、純粋なアマチュア無線の切手は現時点で70種類もありません(表1, p.69)。

今回の連載ではまずこれらの切手やそのFDC(初日カバー)を紹介させていただきます。その後、少し幅を広げてアマチュア無線に関係した切手(アマチュア無線が図案に描かれているとか、アマチュア無線家が描かれた切手など)を準アマチュア無線の切手として紹介し、さらには地方切手やP切手(パーソナル切手やフレーム切手など)、記念消印、メーター・スタンプなど幅広く、アマチュア無線に関する郵趣品の数々を紹介させていただきます。これらをご覧

いただき、アマチュア無線の切手の蒐集に興味を持っていただければ幸いです。

### 切手シートの贈呈の記憶

わが国では1977年9月24日に「アマチュア無線50年」の50円記念切手が発行されました(写真1)。この切手は草間貴吉氏にJXAXというコールサインで短波私設無線電信無線電話実験局が許可された1927年9月7日(官報では9月10日)から数えて50年ですが、十数日間のずれは、郵趣家の三浦正悦氏の郵政省(現在は総務省)への問い合わせに、郵政省郵務局管理課切手室が「記念切手は、国家的、国民的な重要記念事項であって、相当規模の式典そのほかの催しを伴うものを対象に発行することとしております。アマチュア無線についても、これにならい、記念式典の行われる9月24日に合わせて発行するものです」と回答しています。そして、9月24日に東京のホテルオークラで開かれた式典で、当時の小宮山

(注) p.69に純アマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。





写真3 小宮山郵政大臣からJARL原会長に送られた初刷の切手シート。東京巣鴨のJARL資料館に飾られていた



写真4 第1回アマチュア無線フェスティバルの会場に設けられた京橋郵便局の臨時出張郵便局に列をなすアマチュア無線家と切手収集家



写真5 第1回アマチュア無線フェスティバルの記念特設局8J1HAMのQSLカード。発行されたばかりの記念切手を貼って「アマチュア無線フェスティバル」の小型記念通信日付印を押したものです

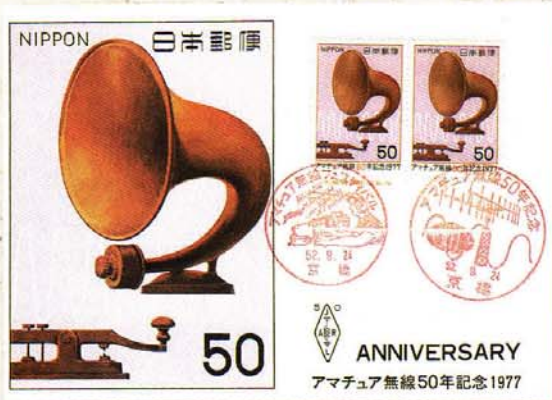


写真6 左が「アマチュア無線フェスティバル」の小型記念通信日付印、右が「アマチュア無線50年」記念切手の特殊通信日付印

郵政大臣から、JA1AN 原昌三氏に初刷の切手シートが贈呈されました(写真2、写真3)。

このころのようすを原昌三氏にお伺いしてみると、1976年ごろに当時の福田郵政大臣にお願いしたところ、年間数件しかない記念切手発行の計画は1年以上前から決めるので、急に言われても無理だが来年なら何とかするとのことで、翌1977年に専門家がデザインした切手の図案(初期のスピーカと電鍵)を持ってこられたそうです。そして1年ほど後だったか、この記念切手の販売が終了した時点で、売れ残った切手を買収するよう郵政省から依頼があったので、360万円分ほど大量に買い取り、それを今でも東京のハムフェアで頒布しているとのことでした。

また、このときは「第1回アマチュア無線フェスティバル」が東京・晴海の「東京国際貿易センター」で開かれていて、そこに京橋郵便局の臨時出張郵便局が開設され、記念切手の販売とともに記念消印のサービスを行いました(写真4～写真6)。現在のところ日本で発行されたアマチュア無線の切手はこの1種だけですが、これがアマチュア無線家の多くに郵趣にも興味を持たせたものと思いま



写真7 世界で最初のアマチュア無線に関する郵趣品。フランスのアマチュア無線連盟REFと国際アマチュア無線連盟IARUの25周年を記念したもので右上に腕木通信機を発明したクロード・シャップの切手が貼られ、消印はREFのロゴが入ったIARUの国際会議の記念印で、パリ1950年5月18日の消印である

写真8 世界で最初のアマチュア無線に関する郵趣品。フランスのアマチュア無線連盟REFと国際アマチュア無線連盟IARUの25周年を記念したもので右上に腕木通信機を発明したクロード・シャップの切手が貼られ、消印はREFのロゴが入ったIARUの国際会議の記念印で、パリ1950年5月18日の消印である



す。

世界で最初のアマチュア無線切手は、1961年にポーランドで発行された「共産国通信閣僚会議」記念の3種類の切手の内の1種(写真7)ですが、この説明は次回に譲ることにして、今回はそれより10年以上前の1950年にフランスで作られたIARU-REFの25周年記念私製はがきを紹介します(写真8)。これが世界で最初のアマチュア無線に関する郵趣品ではないかと思われるからです。戦後、日本でアマチュア無線が再開される2年前のことです。

このはがきには腕木通信機を発明したフランスのクロード・シャップ

(Claude Chappe)の肖像がエンボスで中央に描かれており、1794年当時のシャップの腕木通信機が左上に、1950年として八木アンテナが右下に描かれています。通信機の始まりはフランスだぞと言わんばかりですが、この図案を見ていると腕木通信機と八木アンテナが似ているように見えるのは不思議です。右上には腕木通信機発明150年を記念して1944年8月14日に発行されたクロード・シャップの切手が貼られています。そして、その消印は1950年5月にパリで開かれたIARUの国際会議を記念する特別記念消印です。



# アマチュア無線の切手

日本郵趣協会(JPS)正会員/日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員 **J3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa**

表1 純アマチュア無線の切手一覧表

番号 No.	発行日 Issue Date	国 Country	プリフィックス Prefix	額面 Face Value	カタログ Scott No.	備考
1	1961.06.26	Poland	SP	2.50 zlotys	993	共産国通信関係会議
2	1961.06.26	Poland	SP	3.50 zlotys	933A	同上を含む小型シート
3	1964.12.15	USA	W	5 cents	1260	ARRL 50年
4	1966.05.23	Yugoslavia	YU	85 paras	809	SRJ 20年, IARU 第1地域会議 1966
5	1972.08.08	German Dem Rep.	DL (Y2)	25 pfennigs	1391	スポーツ及び技術界
6	1973.05.10	Colombia	HK	60 centavos	813	LCRA 40年
7	1975.04.15	Poland	SP	1.5 zlotys	2088	IARU 第1地域会議 1975
8	1975.04.16	Costa Rica	TI	1.00 colones	C633	第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション
9	1975.04.16	Costa Rica	TI	1.10 colones	C634	第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション
10	1975.04.16	Costa Rica	TI	2.00 colones	C635	第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション
11	1976.10.08	Dominican Rep.	HI	6 centavos	773	RCD 50年
12	1976.10.08	Dominican Rep.	HI	10 centavos	C246	RCD 50年
13	1977.09.24	Japan	JA	50 yen	1312	日本アマチュア無線 50年
14	1977.11.05	Brazil	PY	1.30 cruzei	1533	ブラジル・アマチュア無線の日
15	1979.01.25	Dominican Rep.	HI	10 centavos	C286	ベータ島DXベディション
16	1979.02.23	Russia (USSR)	UA	4 kopecks	4733	アマチュア衛星RS-1およびRS-2
17	1979.03.26	Bolivia	CP	3 pesos	638	RCB 38年
18	1979.09.06	Switzerland	HB9	70 centimes	679	USKA 50年
19	1980.10.03	Dominican Rep.	HI	7 centavos	C320	カタリナ島DXベディション
20	1980.11.01	Argentina	LU	700 pesos	1287	RCA 59年
21	1981.03.12	Russia (USSR)	UA	4 kopecks	4917	第30回アマチュア無線連合展示会
22	1981.06.25	Djibouti	J2	250 franc	528	ジブチ・アマチュア無線クラブ
23	1982.02.22	Ascension	ZD8	25 pence	303	ボーイスカウト・ジャンボリー (ZD8JAM)
24	1982.02.22	Ascension	ZD8	90 pence	304a	同上を含む小型シート
25	1982.12.29	Chile	CE	7 pesos	631D	RCC 60年
26	1983.01.17	Sri Lanka	4S	2.50 rupee	655	スリランカ・アマチュア無線 55年
27	1983.04.28	San Marino	T7	400 lira	1051	世界コミュニケーション年(アマチュア無線家)
28	1983.06.11	Colombia	HK	12 pesos	C735	LCRA 50年
29	1983.08.11	Jordan	JY	10 fils	1156	王立ヨルダン・アマチュア無線協会
30	1983.08.11	Jordan	JY	25 fils	1157	王立ヨルダン・アマチュア無線協会
31	1983.08.11	Jordan	JY	40 fils	1158	王立ヨルダン・アマチュア無線協会
32	1983.08.11	Jordan	JY	50 fils	1159	王立ヨルダン・アマチュア無線協会
33	1983.08.11	Jordan	JY	100 fils	1160	王立ヨルダン・アマチュア無線協会
34	1983.09.01	Russia (USSR)	UA	6 kopecks	5174	無線電通信チャンピオンシップ
35	1983.10.07	Nicaragua	YN	1 cordoba	1296	FRACAP '83
36	1983.10.07	Nicaragua	YN	4 cordoba	1297	FRACAP '83
37	1983.11.18	Venezuela	YV	2.70 bolivars	1323	RCV 50年
38	1983.12.19	Solomon Islands	H4	18 cents	512	世界コミュニケーション年(ソロモン諸島ラジオクラブ・H44SI)
39	1984.04.11	Uruguay	CX	7 pesos	1157	RCU 50年
40	1985.07.24	Peru	OA	1300 sol	860	RCPの国民への奉仕(アマチュア無線サービス 55年)
41	1986.12.10	Bulgaria	LZ	13 stontinki	3207	ブルガリア・アマチュア無線 60年
42	1987.01.07	New Caledonia	FK	64 francs	C211	ARANC 25年
43	1987.03.09	Luxembourg	LX	12 francs	767	RL 50年
44	1987.06.14	Israel	4X	2.50 Nis	964	IARC 40年
45	1987.11.23	Liberia	EL	10 cents	1061	LRAA 25年(25年記念の紋章)
46	1987.11.23	Liberia	EL	10 cents	1062	LRAA 25年(アマチュア無線)
47	1987.11.23	Liberia	EL	35 cents	1063	LRAA 25年(25年記念アワード)
48	1987.11.23	Liberia	EL	35 cents	1064	LRAA 25年(旗と地球)
49	1987.12.23	Oman	A4	130 balsa	306	王立オマーン・アマチュア無線クラブ 15年
50	1991.03.01	Bolivia	CP	2.40 Bs	819	RCB 50年
51	1991.04.09	Norfolk Island	VK9N	43 c	501	アマチュア無線
52	1991.04.09	Norfolk Island	VK9N	1 \$	502	アマチュア無線
53	1991.04.09	Norfolk Island	VK9N	1.20 \$	503	アマチュア無線
54	1991.10.06	Indonesia	YB	300 Rp	1477	IARU 第3地域会議
55	1993.01.01	Fr. Southern and Antarctic	FT	2.00 fr	C124	アマチュア無線
56	1996.09.04	Pitcanim Islands	VP6 (VR6)	20 c	453	ピトケアン島のアマチュア無線家クラブ VR6PAC
57	1996.09.04	Pitcanim Islands	VP6 (VR6)	1.50 \$	454	VR6IM 医療援助の呼び出し
58	1996.09.04	Pitcanim Islands	VP6 (VR6)	1.50 \$	455	VR6IM の受信-医療助言を得られる
59	1996.09.04	Pitcanim Islands	VP6 (VR6)	2.50 \$	456	ピトケアン島の最初のオペレーター・Andrew Young
60	1997.12.23	Oman	A4	100 balsa	397	王立オマーン・アマチュア無線クラブ 25年
61	1999.04.16	Spain	EA	70 Peseta	2989	URE 50年
62	2000.03.15	Bosnia and Herzegovina	T9	1.50 m	355	ボスニア・ヘルツェゴビナ・アマチュア無線 50年
63	2000.05.09	Slovenia	S5	20 sit	419	スロベニア・アマチュア無線 50年 (WRTC 2000)
64	2002.09.19	San Marino	T7	0.36 Euro	1540	IARU 第1地域会議 2002
65	2002.09.19	San Marino	T7	0.62 Euro	1541	IARU 第1地域会議 2002
66	2008.11.14	Croatia	9A	3.5 dinar	707	IARU 第1地域会議 2008
67	2010.12.26	Qatar	A7	5.0 Riyal		IARU, QARS

(注)この表はpp.146 ~ 147「アマチュア無線の切手」の関連表です。



# アマチュア無線の切手

## その2 アマ無線が目的で発行された切手(1960~1970年代)

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

アマチュア無線が目的で発行された切手の一覧表は前号に掲載しました。今回は1960年代から1970年代に発行された切手を紹介します。

最初の切手は1961年にポーランドで発行された切手で、それ以来1979年までに、13イベント、18種の切手が発行されました。その中にはわが国で1977年に発行された「アマチュア無線50年」の記念切手も入っています(以下の説明および写真の番号は一覧表の番号に合わせていますが、切手やFDCの写真は縮小したり拡大したりしているので実際のサイズとは異なります。次号以降も同様となります)。

### 1~2. ポーランド 1961年6月26日発行 共産圏通信閣僚会議記念

アマ無線に関係する最初の記念



◀写真1 ポーランド 共産圏通信閣僚会議記念切手

▶写真2 ポーランド 共産圏通信閣僚会議記念切手小型シート

切手で、1961年にワルシャワで開かれた共産圏通信閣僚会議を記念して発行された3種の切手のうち最高額面(2.50zt)の切手です(写真1)。この切手の発行と同時に、3種の切手を組み合わせた小型シートが発行されています。3種の額面合計3.50ztに1.50ztを追加して5.00ztで販売されました(写真2)。

### 3. アメリカ合衆国 1964年12月15日発行 ARRL 50年記念

アメリカ合衆国のアマチュア無線連盟ARRL創立50周年を記念して発行されたもの。初日発売局はアンカレッジなのでFDCの消印はアンカレッジに限られます(写真3)。1964年3月27日にアラスカで発生した大地震で、アマチュア無線家が活躍したことから、初日発売局をアンカ



レッジに決めたようです。翌日の12月16日には全国の郵便局で発売されました。アメリカ合衆国の当時のアマチュア無線局数は約25万局でした。

### 4. ユーゴスラビア 1966年5月23日発行 SRJ 20年、ユーゴスラビア・アマチュア無線40年記念、 IARU第1地域会議記念

ユーゴスラビア・アマチュア無線連盟SRJ創立20周年と1966年5月23日から28日にかけてオパティヤ(Opatija)で開かれたIARU第1地域会議を記念して発行されたもの(写真4)。この時期までにアマチュア無線の通信衛星はオスカー4まで打ち上げられていましたが、アマチュア無線の切手の図案に現れたのは初めてです。



▲写真5 東ドイツ スポーツ技術界記念切手



◀写真3 のFDC 3 米国 ARRL 50年記念



▲写真4 ユーゴスラビア SRJ 20年記念切手



▲写真6 コロンビアLCRA 40年記念切手

(注)本誌2012年1月号p.69に純アマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。





▲写真7 ポーランド IARU第1地域会議記念切手



▲写真8 コスタリカ 第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション記念切手①



▲写真9 コスタリカ 第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション記念切手②



▲写真10 コスタリカ 第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション記念切手③



▲写真11 ドミニカ RCD 50年記念切手①



▲写真12 ドミニカ RCD 50年記念切手②



▲写真13 日本 アマチュア無線50年記念切手FDC



▲写真14 ブラジル ブラジル・アマチュア無線の日記念切手

### 5. 東ドイツ(ドイツ民主共和国) 1972年8月8日発行 スポーツおよび科学技術

スポーツおよび科学技術省にちなんで発行された5種の切手のうちの1種で、アマチュア無線の通信機、ヘッドホン、電鍵、モールス符号(GST)でデザインされています(写真5)。

### 6. コロンビア 1973年5月10日発行 LCRA 40年記念

コロンビア・アマチュア無線連盟LCRA創立40周年を記念して発行されたもの(写真6)。

### 7. ポーランド 1975年4月15日発行 IARU第1地域会議記念

1975年4月14日から18日まで、首都ワルシャワで開かれたIARU第1地域会議を記念して発行されたもの(写真7)。第1地域であるヨーロッパとアフリカを示した地球の図案と、右下にIARUのロゴを配したデザインです。

### 8~10. コスタリカ 1975年4月16日発行 第16回中央アメリカ・ラジオクラブ 連合コンベンション記念

1975年5月2日から4日まで、首都サンホセで開かれた第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合(FRACAP)コンベンションを記念して3種の切手が発行されました(写真8~写真10)。低額面から順に、コスタリカ・ラジオクラブのロゴ、参加国の国旗をV字型にデザインして(左から、グアテマラ、コスタリカ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、エルサルバドル)中央に連合のロゴ、そして最高額面の切手には連合のロゴがデザインされています。

### 11~12. ドミニカ共和国 1976年10月8日発行 RCD 50年記念

ドミニカ共和国アマチュア無線連盟RCD創立50周年(切手には発行日と異なる6月12日とある)を記念して2種の切手が発行されました(写真11~写真12)。2種のうち6cは赤色で普通郵

使用、10cは青色で航空郵使用です。

### 13. 日本 1977年9月24日発行 日本・アマチュア無線50年記念

1927年9月、草間貫吉氏にJXAXというコールサインで短波私設無線電信電話実験局が免許されたのが、日本のアマチュア無線の始まりで、その50周年を記念して発行された額面50円の切手です(写真13)。当時の日本のアマチュア無線局数は約34万局で世界一でした。

### 14. ブラジル 1977年11月5日発行 ブラジル・アマチュア無線の日

ブラジル・アマチュア無線連盟が、1977年11月5日から11日まで、リオネジャネイロで開催したアマチュア無線の行事を記念して発行されたもの(写真14)。電波が世界に広がっていくようすをアブストラクトで表現したデザインですが、デザイナーと思われるブラジル造幣局のH. FRANCESCHIの名前が印刷されています。



# アマチュア無線の切手

## その3 アマ無線が目的で発行された切手(1979~1982年)

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

本誌の先月号(2012年2月号)に引き続き、1979年から1982年にかけて発行された切手を紹介します。現在の時点ですでに30年が経っていて、若い読者の方は初めて見る切手も多いのではないかと思います。1980年代は最も多くのアマチュア無線の切手が発行された10年間であり、22イベント、31種類の切手が発行されました。今回はその一部しか紹介できませんが、あと2回でそのすべてを紹介したいと思います。

写真4 スイス USKA 50周年記念切手 FDC



### 15. ドミニカ共和国 1979年1月25日発行 ベアタ島DXペディション記念

ドミニカ共和国のアマチュア無線家たちのベアタ島(Beata Island) DXペディションを記念して発行された切手で、HIIRCDのコールサインが印刷されています(写真1)。ベアタ島の形の中に島に生息する動物やヤシの木の下面に無線機を置いたカラフルな図案です。ベアタ島は首都サントドミンゴの西方にある町 Pendernalesの南のカリブ海に浮かぶ小さな島で、ハラグア国立公園の一部かもしれません。



写真1 ドミニカ ベアタ島DXペディション記念切手

### 16. ソ連(ソビエト連邦) 1979年2月23日発行 アマチュア衛星RS-1およびRS-2

ソ連が1978年10月に打ち上げた2個のアマチュア通信衛星、RS-1およびRS-2(Radio Sputnik)を記念して発行されたもので、地球を回るそれらの通信衛星が描かれています(写真2)。



写真2 ソ連 アマチュア衛星RS1&RS2記念切手

### 17. ボリビア 1979年3月26日発行 RCB 38周年記念

ボリビア・アマチュア無線連盟 RCB創立38周年を記念して発行されたものです(写真3)。ボリビアの地図の上にRCBのロゴと八木アン



写真3 ボリビア RCB 38年記念切手

テナがカラフルにデザインされ、上部にCPØRCBのコールサインも見えます。また、両サイドに「奉仕のために生きていない人は住みにくい」と書かれていて、アマチュア無線は奉仕するものだと言っているようです。

### 18. スイス 1979年9月6日発行 USKA 50周年記念

スイス・アマチュア無線連盟 USKA創立50周年を記念して発行されました(写真4)。通信衛星(オスカー7)と電鍵がスッキリとデザインされています。スイスで使われている、ドイツ語、フランス語、イタリア語でアマチュア無線と書かれていますが、スイスも多言語国家です。同日発行された額面の異なる4種類の切手の内の1種類です。スイスと言えば国連本部の4UIUNで知り合った筆者の親しい友人、HB9RS Dr. Max de Henseler(写真5)がいます。彼はハリクラフター製通信機のコレクターでもあり、ハム切手の蒐集家です。しかし、歳をとったと通信機のコレ

(注)本誌2012年1月号p.69にアマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。





写真5 スイスの郵趣家HB9RS Dr. Max de Henseler(左)が、博物館に寄贈したハリクラフター通信機コレクションの公開日(2008年9月19日)の記念写真



写真6 ドミニカ カタリナ島DXペディション記念切手



写真7 アルゼンチン RCA 59年記念切手

クションはスイスの博物館に寄贈され、ハム切手のコレクションは私に任せると送ってくれました。今回のシリーズで紹介する切手には彼のコレクションも含んでいます。

**19. ドミニカ共和国  
1980年10月3日発行  
カタリナ島DXペディション記念**

ドミニカ共和国のアマチュア無線家の、カタリナ島DXペディションを記念して発行された切手で、先に紹介した1979年のベアタ島DXペディションに次ぐ2回目のDXペディションの切手です(写真6)。経度と緯度を示した線とカタリナ島の形をデザインし、左側にはドミニカ共和国・アマチュア無線連盟のロゴが印刷されています。カタリナ島(Catalina Island)は首都サントドミンゴの東方にあるLa Romanaの南のカリブ海に浮かぶ小さな島です。

**20. アルゼンチン  
1980年11月1日発行  
RCA 59年記念**

アルゼンチンのアマチュア無線連盟RCA創立59年を記念して発行された切手です(写真7)。タワーの上のアンテナ群から、電波伝搬のようすを示す輪をデザインし、アルゼンチンのプリフィックスであるLUの文字が大きく描かれています。そして、左側には「アマチュア無線への賛辞」と印刷されています。

**21. ソ連(ソビエト連邦)  
1981年3月12日発行  
第30回アマチュア無線連合展示会記念**

モスクワで開かれたアマチュア無



写真8 ソ連第30回アマチュア無線連合展示会記念切手 FDC



写真9 ジブチ RCJ記念切手

線連合展示会を記念して発行された切手で、中央のサークル内に30の文字を大きく配し、その前にアマチュア通信衛星(RS-2)を描いています(写真8)。サークルの外側の背景には、上部にプリント配線基板、下部にはアマチュア無線家が描かれています。

**22. ジブチ  
1981年6月25日発行  
ジブチ・アマチュア無線クラブ**

東北アフリカとアラビア半島を俯瞰する空から見た地球地図のジブチの位置に、八木アンテナを乗せた高いタワーを描き、電鍵を大きく配したカラフルな大型の切手です(写真9)。プリフィックスJ28の文字とパラボラ・アンテナをデザインしたジブチ・アマチュア無線連盟のロゴとIARUのロゴも描かれています。ハム切手の蒐集家であったW4KFC故Vic Clark氏は「ジブチのアマチュア無線家に会ったとき、アマチュア無線の切手のコレクション

を見せたところ、自分の国でも発行したいと言ひ、2年後にこの切手が発行された」と言っていました。たぶん、政府の高官か有力者だったのでしょう。この切手には無目打ち切手もあります。

本誌2012年1月号の本連載で、1950年のフランスの私製はがきを紹介し、「これが世界で最初のアマチュア無線に関する郵趣品ではないかと思われる」と記しましたが、郵趣家の三浦正悦氏と馬場秀雄氏(JA4HCK)から、ドイツにさらに古い消印があるとお便りをいただきました。確かに1947年にドイツのシュツットガルトで開かれた第1回ハムフェストを記念した消印がありました。また翌年の第2回以降にも記念消印があるので、これらは後の「記念消印」の項で紹介いたします。なお、この連載記事に関するご意見や、情報のご提供を歓迎いたします。筆者(JA3AER)または本誌編集部あてにお寄せください。 (CQ)



# アマチュア無線の切手

## その4 アマ無線が目的で発行された切手(1982~1983年)

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

先月号に引き続き、今回は1982年から1983年にかけて発行された切手を紹介します。この1980年代でも世界コミュニケーション年であった1983年が単年度にしては最も多く、8イベント、13種類の切手が発行されました。しかし、わが国で発行された2種類の世界コミュニケーション年の記念切手には、残念ながらアマチュア無線は描かれませんでした。

### 23~24. アセンション 1982年2月22日発行 ボーイスカウト75年記念

ボーイスカウト75周年を記念して発行された4種類の切手のうちの1種類で、アマチュア無線局ZD8JAMを運用しているところが描かれています(写真1)。そしてこれを運用している人はZD8TCだそうですが、これも故W4KFC Vic Clark氏(写真2)から聞いた話です。

これらの切手には4種類を組み合わせた小型シートが同時に発行されていますが、切手を正方形にして



写真2 故W4KFC Mr. Vic Clark(右)は、RCA(Radio Club of America)1909年創設の世界で最も古いラジオクラブの一つの1983年の晩餐会で表彰されたが、その1週間ほど後に急逝された。彼はARRLの会長を務めたこともあり郵趣家としても知られていた



図案を少し変えています(写真3)。このシートの裏側には、1973年にアセンションで結成されたボーイスカウトの説明が印刷されている珍しいものです。

### 25. チリ 1982年12月29日発行 RCC 60年記念

チリのアマチュア無線連盟RCC創立60周年を記念して発行されたもので、地球、アンテナ・タワー、それに平和の象徴の白いハトを中



写真3 アセンションボーイスカウト75年記念切手の小型シート

央に描き、タワーの上にはRCCのロゴが描かれています(写真4)。また、最下段には「コミュニティサービス」と書かれています。アマチュア無線を地域社会のために役立てようという姿勢ですね。

### 26. スリランカ 1983年1月17日発行 スリランカ・アマチュア無線55年記念

スリランカでのアマチュア無線55周年を記念したもので、電鍵と3エレメント八木アンテナを乗せたタワーを描き、アンテナを中心とした同



写真4 チリRCC 60周年記念切手

写真1 アセンションボーイスカウト75年記念切手FDC

(注)本誌2012年1月号p.69にアマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。





写真5 スリランカスリ  
ンカアマチュア無線55年記  
念切手



写真6 サンマリノ世界コ  
ミュニケーション年記念切手



写真7 コロンビアLCR  
A 50年記念切手

写真8 ヨルダン RJARC記念切手



(a) 額面10F



(b) 額面25F



(c) 額面40F



(d) 額面50F



(e) 額面100F



写真9 ソ連 無線電信チャンピオンシップ  
記念切手

心円は電波の伝搬を示しています(写真5)。また、大きく描かれたスリランカ・アマチュア無線連盟のロゴの下には、「5VX 1928」と「4S7RS 1983」と書かれていますが、1928年といえばセイロンと呼ばれていた時代で、5VXがこの国での初めてのコールサインでしょうか。

27. サンマリノ 1983年4月28日発行  
世界コミュニケーション年  
(アマチュア無線家)

これは世界コミュニケーション年(WCY)の記念切手として発行された2種類のうちの1枚で、若いアマチュア無線家がヘッドホンを耳にあて受信しているようすが描かれています(写真6)。受信機は初期の鉱石受信機のようなのですが、凹版印刷のすっきりしたデザインです(なお、Scottカタログによる発行日は4月28日ですが、FDCの消印は4月20日であることを付記しておきます)。

28. コロンビア  
1983年6月11日発行  
LCRA 50年記念

コロンビアのアマチュア無線連盟

LCRA創立50周年を記念して発行されたもの(写真7)ですが、10年前の40周年にも記念切手を発行しています。7色の虹を2mから80mまでのアマチュアバンドの半円形のダイヤルに仕立てた図案は、その中心に地球を描き、そこからダイヤルの指針を出したカラフルな航空郵便切手です。

29~33. ヨルダン  
1983年8月11日発行  
王立ヨルダン・アマチュア無線クラブ

ヨルダン王国アマチュア無線連盟(RJARC)の切手で、JY1のシャツで運用中のフセイン国王と連盟のロゴを描いています(写真8)。

これら5種類の額面の切手は、同じ図案で色だけを変えています。故W4KFC Vic Clark氏(写真2)は「アメリカを訪問されたフセイン国王と電話で話をした際、アマチュア無線の切手についても話をしておいたところ、WARCの会議で日本に行ったとき、JYの代表からこの切手を見せられびっくりした」と話していました。

34. ソ連(ソビエト連邦)  
1983年9月1日発行  
無線電信チャンピオンシップ記念

モスクワで開かれた第1回欧州杯無線電信選手権大会を記念したもので、大会のロゴとオスタンキンスカヤ・テレビ送信塔をデザインしたグラビヤ印刷です(写真9)。アマチュア無線家も参加したであろうと、この切手をアマチュア無線切手にリストしています。

©©



# アマチュア無線の切手

## その5 アマ無線が目的で発行された切手(1983~1987年)

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

先月号に引き続き、1983年から1987年にかけて発行された切手を紹介します。

### 37. ベネズエラ 1983年11月18日発行 RCV 50年記念

ベネズエラのアマチュア無線連盟RCV創立50周年を記念して発行されました(写真1)。10枚シートの左のタブにその発行日が印刷されていますが、切手の下のほうに「ベネズエラ・ラジオクラブ50周年/1934-1984」と印刷されているので、記念日は翌年の1984年です。図案はアンテナからの電波の広がりを抽象的に描いたものです。

### 38. ソロモン諸島 1983年12月19日発行 世界コミュニケーション年 (ソロモン諸島ラジオクラブ)

1983年の世界コミュニケーション年(WCY)を記念して発行された4種類の切手の1種類にアマチュア無線が描かれています(写真2)。切手の中に切手があるデザインですが、ヘッドホンを付け、マイクを片手に無線機のダイヤルに手を伸ばしてア



### Solomon Islands Radio Society

写真2 ソロモン諸島 世界コミュニケーション年記念切手(ソロモン諸島ラジオクラブ)のFDC

マチュア無線局を運用しているアマチュア無線家が描かれています。絵の右上の丸い囲みの中には中央に電鍵を描かれ、その上にH44SIのコールサインと、下側にはamateur radioという文字が印刷されています。

### 39. ウルグアイ 1984年4月11日発行 RCU 50年記念

ウルグアイのアマチュア無線連盟RCU創立50周年を記念して発行されました(写真3)。ウルグアイの国旗、地図、それにRCUのロゴをあしらい、電波伝搬を抽象的に描いたデザインです。そして中央右寄りに「ウルグアイ・ラジオクラブ50周年/1933-1983」と印刷されていますから、実際の記念日は前年の1983年



写真3 ウルグアイ RCU 50年記念切手



です。先のベネズエラは前もって発行しているので、遅ればせながら翌年に発行して、クラブの創立はこちらのほうが先だぞと、同じ南米で張り合ったのかもしれませんが。

### 40. ペルー 1985年7月24日発行 RCPの国民への奉仕 (アマチュア無線サービス55年)

ペルーのアマチュア無線連盟RCPの、国民への奉仕に敬意を表して発行されたもの(写真4)で、地球、通信衛星(オスカー8)、八木アンテナ、それにデジタル通信用のコンピュータを描き、そのモニターにはOA4Qのコールサインが見えます。また、左寄りに1930と創立年の入ったRCPのロゴを配し、右下に「国と人類への奉仕」と無線連盟のモット



写真4 ペルー RCP 55年記念切手



写真1 ベネズエラ RCV 50年記念切手(タブ付き)





写真5 ブルガリアのアマチュア無線60年記念切手



写真6 ニューカレドニア ARANC 25年記念切手



写真8 イスラエル IARC 40年記念切手 (タブ付き)

ので、蒐集される方は切り離さずに残されるとよいでしょう。イスラエルの切手蒐集家であり、IARCのアワード・マネージャーでもある4Z4KX、Mark氏によると、この切手を発行させるのに5年かかったそうです。

●「世界のテレビ塔・電波塔」の企画展  
さて、今回は通信切手の蒐集家である三浦正悦さんを紹介いたします(写真9)。残念ながらハムではありませんが、通信関係に造詣が深く、特に電磁波の人体への影響についての研究で知られています。

日本郵趣協会の専門部会の世話人や支部長などを務められていますが、ちょうど本誌が書店に並ぶころに、東京は浅草の東京都立産業貿易センター台東館で4月27日から29日まで開かれる「スタンプショウ2012」に、スカイツリーの完成とタイアップして、三浦さんのコレクションを中心に「世界のテレビ塔・電波塔」の企画展を行うとのこと。お近くの方はぜひご覧ください。@



写真9 切手展 JAPEX 2010の会場に展示された大銀賞入賞作品「電話物語」の前に立つ郵趣家・三浦正悦さん



写真7 ルクセンブルグ RL 50年記念切手(右側)のFDC

ーが書かれています。

#### 41. ブルガリア 1986年12月10日発行 ブルガリア・アマチュア無線60年記念

ブルガリアのアマチュア無線60周年を記念して発行された切手です(写真5)。顔に見立てた地球に、60の数字をヘッドホンにデザインしています。

#### 42. ニューカレドニア 1987年1月7日発行 ARANC 25年記念

ニューカレドニアのアマチュア無線連盟ARANC創立25周年を記念して発行された切手です(写真6)。ARANCのロゴを大きく描き、そこからの電波伝搬のようすをデザインしています。また、右側には特別記念局のコールサインFK25Aが大きく描かれています。

#### 43. ルクセンブルグ 1987年3月9日発行 RL 50年記念

ルクセンブルグのアマチュア無

線連盟RL創立50周年を記念して発行された切手です(写真7)。RLのシンボルを中心にデザインされていますが、この切手はInternational Fair (国際見本市) 50周年記念切手と同時に発行されたので、FDCにはその切手と2枚貼られたものが多いようです。

#### 44. イスラエル 1987年6月14日発行 IARC 40年記念

イスラエルのアマチュア無線連盟IARC創立40周年を記念して発行されたもの(写真8)で、世界地図を中央に描き、その両端にオペレーターを配しています。地図の中心はもちろんイスラエルですが、4Xと4Zのプリフィックスが印刷されています。ほかにも12か国のプリフィックスが描かれていますが、その中にはJAも含まれています。またこの切手のタブには4X、4Zのプリフィックスと連盟のロゴ、Israel Radio Amateursの文字が印刷されている

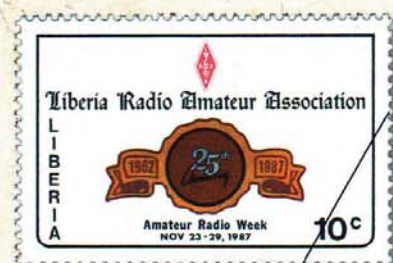


# アマチュア無線の切手

## その6 アマ無線が目的で発行された切手(1987~1996年)

日本郵趣協会(JPS)正会員  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa



(a) 額面10c



(b) 額面10c



(c) 額面35c



(d) 額面35c

写真1 リベリア LRAA 25周年記念切手

1c)には人々の生活と、25周年記念の表彰状が描かれています。もう一種(写真1d)の35c切手には地球を描き、リベリアの位置に国旗と連盟旗を立てた図案です。

49. オマーン 1987年12月23日発行  
王立オマーン・アマチュア無線連盟  
15周年記念

オマーンの王立オマーン・アマチュア無線連盟創立15周年を記念して発行された切手です(写真2)。アマチュア無線を運用する2人のオペレーターが描かれ、左上に連盟のロゴが描かれています。

50. ボリビア  
1991年3月1日発行  
RCB50周年記念

ボリビアラジオクラブRCB創立50周年を記念して発行された切手です(写真3)。RCBのロゴを大きく描いた右側に、ボリビアの地図と八木アンテナを乗せたタワーを描いて、そこから電波伝搬を抽象的に同心円で描いています。そして「人類へのサービス50年」と無線が目的とする言葉が書かれています。

先月に引き続き1987年から1996年にかけて発行された切手を紹介します。1990年代は7イベント、12種と少なくなり、また、DXCCではレア・エンティティですが、国家ではなく属領のような小さな島々の切手が目立ってきました。

45~48. リベリア  
1987年11月23日発行  
LRAA 25周年記念

リベリアのアマチュア無線連盟LR

AA創立25周年を記念して4種の切手が発行されました(写真1)。4種の切手には共通してLRAAのロゴが描かれていますが、低額10cの一種(写真1a)には25周年記念のロゴと、「Amateur Radio Week NOV 23-29, 1987」の文字が見えます。もう一種(写真1b)の10cには仕事中的2人がアンテナを支え、木の下でアマチュア無線を運用している姿が描かれています。高額の35cの一種(写真



写真2 オマーン OARS 15周年記念切手のFDC



写真3 ボリビア RCB 50周年記念切手

(注)本誌2012年1月号p.69にアマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。



写真4 ノーフォーク島 アマチュア無線記念切手



(a) 額面43c (b) 額面\$1 (c) 額面\$1.20

51~53. ノーフォーク島  
1991年4月9日発行  
アマチュア無線

ノーフォーク島はオーストラリアから東へ約900マイルの南太平洋に浮かぶ約35km<sup>2</sup>の小さな島で、2,000人余りの人々が暮らしています。オーストラリアの領土ですが、独立した切手を発行し使用しています。この3種の切手には島の地図のほか、背景にVK9JA, VK9ND, VK9NI, VK9NL, VK9NSの5局のコールサインが描かれています(写真4)。

54. インドネシア  
1991年10月6日発行  
IARU第3地域会議記念

1991年にインドネシアのバンドン(Bandung)で開かれた第8回IARU第3地域国際会議を記念して発行さ



写真5 インドネシア IARU第3地域会議記念切手



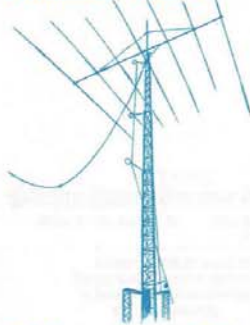
写真6 仏領南方・南極地域 アマチュア無線記念切手

れました(写真5)。切手には建物と樹木のシルエットが描かれ、そこにそびえるアンテナから放射する電波を図案化し、インドネシアのアマチュア無線連盟ORARIのロゴが描かれています。

55. 仏領南方・南極地方(TAAF)  
1993年1月1日発行  
アマチュア無線

1955年にマダガスカルの子統統治領からフランスの領土になった南方・南極地方で、多くの切手が発行されています。島々の合計が約440km<sup>2</sup>しかなく、ほとんどが無人島で、研究者か軍の関係者の200人程度しか住んでいないと言われています。アマチュア無線の切手(写真6)には、地球の地図と握手をする手を大きく描き、左側には通信機など、右側には建造物とアンテナのほか、ペンギンが描かれた図柄に「RADIO AMATEURS」と文字を入れています。

Amateur Radio



Pitcairn Islands

写真7 ピトケアン諸島 アマチュア無線記念切手の FDC



写真8 VP6TC, Tom Christian(左)とVP6YL, Betty Christian(右)  
(Photo: G3TXF)



56~59. ピトケアン諸島  
1996年9月4日発行  
アマチュア無線

ピトケアン諸島は南太平洋にあるイギリスの海外領土ですが、わずか47km<sup>2</sup>に50~60人程度しか住んでいない小さな島です。切手は4種類発行され(写真7)、額面20cの切手には島の印影の上にクラブ局のコールサインVR6PACが描かれ、その周りに12局のコールサインが描かれています(現在はプリフィックスがVR6からVP6に変更されています)。額面\$1.50の2種連刷切手にはVR6IMのコールサインで医療アドバイスをを行う通信が、そして額面\$2.50の切手には、1938年の最初のオペレーターVR6AY Mr. Andrew Youngが描かれています。今年(2012年)の1月に、この島から5人でVP6TとしてDXペディションを行ったG3TXF, NigelがCDXCの機関誌に、この島に現存する局はVP6TCとVP6YLの2人(写真8)だけだろうと書いています。☺☺



# アマチュア無線の切手

## その7 アマ無線が目的で発行された切手(1997~2012年)

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

今回は「アマチュア無線が目的で発行された切手(純アマチュア無線の切手)」の最終回です。先月号に続き、2000年以降の発行はさらに少なくなっており、2012年現在までにわずか6イベント、7種の発行で、ユーゴスラビアから独立した国々が多くなっています。また、IARU第1地域会議の記念発行が目立っています。

そして、今回紹介する切手、すなわちここ10年余りで発行された切手の発行国は、すべてIARUの第1地域です。しかし、これ以外に知られていない切手があるかもしれません。新しく発見されましたら、ぜひお知らせください。

### 60. オマーン 1997年12月23日発行 王立オマーン・アマチュア無線連盟 25周年記念

オマーンの王立オマーン・アマチュア無線連盟ROARSの創立25周年を記念して発行された切手です(写真1)。図案は連盟のロゴが左に描かれ、右側には地球とその周りを回る三つの通信衛星がデザインされています。下側の左右に2人の通信士を配し、ウェーブで結んで交信しているようすをシルエットで表して



写真3 ボスニア・ヘルツェゴビナ  
 アマチュア無線50周年記念切手



写真2 スペイン：URE 50周年記念切手

写真1 オマーン：ROARS 25周年記念切手

います。オマーンでは1987年に同じ目的で創立15周年記念切手を発行しています。

### 61. スペイン 1999年4月16日発行 URE 50周年記念

スペインのアマチュア無線連盟UREの創立50周年を記念して発行された切手です(写真2)。左側には連盟のロゴを、右側には3エレメント八木アンテナを載せたタワーが描かれ、そこから電波伝搬のようすを同心円で表しています。アンテナの上側にはスペインのプリフィックス「EA」の文字が書かれ、下側には電鍵とマイクを描いています。

### 62. ボスニア・ヘルツェゴビナ 2000年3月15日発行 ボスニア・ヘルツェゴビナ・アマチュア無線50周年記念

ボスニア・ヘルツェゴビナは1992年にユーゴスラビアから独立した国ですが、アマチュア無線は通算して50年にのぼる歴史があります。これを記念して発行された切手です(写真3)。切手の上半分はバックグラウンドに通信機と電鍵が描かれ、右上にはプリフィックス「T9」の文字と、「ARABiH」の文字の入った連盟

のロゴが配置されています。下半分には同国の国旗が描かれています。

### 63. スロベニア 2000年5月9日発行 スロベニア・アマチュア無線 50周年(WRTC 2000)

スロベニアは1991年にユーゴスラビアから独立した国ですが、アマチュア無線通算50年の歴史と、2000年にスロベニアで開催されたWRTC 2000(World Radiosport Team Championship)を記念して発行された切手です(写真4)。

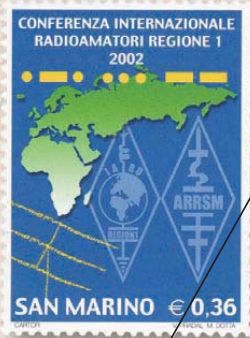
マイク付きヘッドホンを付けたオペレーターが電鍵に手を伸ばし、その向こうにはトランシーバが描かれています。ばらばらに撮影された写真を組み合わせたとようですが、このオペレーターは誰なのでしょうね。左上には大西洋を中心にした地球が描かれ、オペレーターの背後にあ



写真4 スロベニア：アマチュア無線50周年とWRTC2000開催の記念切手

(注)本誌2012年1月号p.69にアマチュア無線の切手一覧表を掲載しています。





(a) 額面 €0.36



(b) 額面 €0.62

写真5 サンマリノ：IARU第1地域会議記念切手



写真7 カタール：アマチュア無線連盟QARS記念切手のFDC



写真6 クロアチア：IARU第1地域会議記念切手



写真8 ルクセンブルグ：RL 75周年記念切手

しらわれたアンテナ・マストの先端から、同心円で電波が地球に広がっていくようすを表現しています。また、そこに「WRTC2000」の文字が白抜きで描かれています。

### 64～65. サンマリノ 2002年9月19日発行 IARU第1地域会議記念

2002年11月10日から15日まで、サンマリノで開かれたIARU第1地域会議を記念して2種類の記念切手が発行されました(写真5)。それぞれの切手にはIARU第1地域の地図、「RSM」のモールス・コード、手描きの八木アンテナが描かれ、IARU第1地域のロゴとサンマリノ・アマチュア無線連盟ARRSMのロゴが並んでいます。

### 66. クロアチア 2008年11月14日発行 IARU第1地域会議記念

2008年11月16日から21日まで、クロアチアのツァヴタット(Cavtat)で開かれたIARU第1地域会議を記念して発行されたもの(写真6)で、第1地域の平面地図と地球が描かれ、その両方でのクロアチアの位置間をウェーブで結んだ図案です。

### 67. カタール 2010年12月26日発行 QARS記念

カタールのアマチュア無線連盟QARSの記念切手です(写真7)が、発行の動機や目的は不明です。額面50 Dirhamsの1種です(本誌2012年1月号, p.69表1のNo.67の額面を訂正します)。図案は中近東とアジアの地図に電波伝搬を表す同心円を描き、それを背景にIARUとQARSのロゴが大きく配置されています。上部にはアラビア語で、下部には英語で「Qatar Amateur Radio Society」と書かれています。

### 68. ルクセンブルグ 2012年3月13日発行 RL75年記念

この切手は、ルクセンブルグ・アマチュア無線連盟RL創立75周年を記念して発行されました(写真8)。本誌2012年1月号(p.69)には掲載されなかった新しいものです。図案は

RLのロゴと音声の波形を描いています。

この切手が発行されることをDL4UE Mr. Manfred G. Bussemer(写真9)が早くに知らせてくれ、SEANETコンベンションで知り合ったスイスの郵趣家HB9DKZ/HS0ZBT Mr. Hans-Juerg Voegeliがいち早く入手して送ってくれました。なお、同国は1987年にも創立50周年記念切手を発行しています。

\* \* \*

「純アマチュア無線の切手」の紹介は今回で終わりとなります。次回からは図案にアマチュア無線が描かれた切手や、アマチュア無線家を描いた切手などを、「準アマチュア無線の切手」として紹介する予定です。㊞㊞



写真9 ドイツの郵趣家、DL4UE Mr. Manfred G. Bussemer  
彼は国際的な「HAM STAMPS CLUB」の会長を務め、1991年ごろにはSM6CVE Uifと共に「HAM STAMPS CATALOG」を発行している。今回紹介した切手のいくつかは彼が送ってくれたもの



# アマチュア無線の切手

## その8 アマチュア無線が図案に描かれた切手

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

今回から「準アマチュア無線の切手」を紹介したいと思います。「準アマチュア無線の切手」とは、切手の図案にアマチュア無線が描かれたものや、アマチュア無線家が描かれているものと定義しています。

今回は前者を、次回からは後者を紹介します。以下の見出しに示す番号は、表1に対応しています。

### 1. チェコスロバキア 1959年3月28日発行 パイオニア組織10周年記念

この切手は、チェコスロバキアのパイオニア組織10周年を記念して発行された4種類の切手のうちの1枚です(写真1)。ヘッドホンを耳にあて、自作らしき受信機を操作する



写真1 チェコスロバキア・パイオニア組織10周年記念切手

少年を描いています。

### 2. ルーマニア 1968年5月9日発行 アマチュア無線家のようなパイオニア

若いパイオニアを描いた6種類の切手のうちの1枚です(写真2)。横長の切手ですが、図案は3人の少年が無線機を操作しているところと、その背景にアンテナ・タワーと電波の伝搬を表す同心円が描かれています。

### 3. 西ドイツ 1979年7月12日発行 WARC 1979記念

1979年9月24日から、ITUの主管庁会議WARC(World Administrative Radio Conference)がスイスのジュ



写真2 ルーマニア・アマチュア無線家のようなパイオニア切手



写真3 西ドイツ・WARC 1979記念切手

ネーブで開かれたことを記念して発行された切手です(写真3)。西ドイツのアマチュア無線連盟(DARC)がこの切手の発行を強く働きかけたそうで、図案はコリンズのKWM-2を描き、ダイヤルはアマチュア・バンドの21.275MHzを示しています。

### 4. アルゼンチン 1991年12月28日発行 アマチュア通信衛星 LUSAT-1・OSCAR-19

この切手はIberoprenfil'92切手展を記念して発行された、寄付金付き切手2種類のうちの1枚です(写真4)。1990年1月21日に、南米の仏領ギアナからアリアン40ロケットで打ち上げられた衛星のうちのひとつである、アルゼンチンのアマチュア通信衛星LUSAT-1が描かれています。



写真4 アルゼンチン：アマチュア衛星LUSAT-1・OSCAR-19

表1 準アマチュア無線の切手一覧表(無線関連図案編)

番号 No.	発行日 Issue Date	国 Country	プリフィックス Prefix	額面 Face Value	カタログ Scott No.	備考
1	1959.03.28	Czechoslovakia	OK	60 heleru	910	パイオニア組織10周年
2	1968.06.09	Romania	YO	1 leu	2013	アマチュア無線家のようなパイオニア
3	1979.07.12	Germany (West)	DL	60 pfennigs	1295	WARC 1979(KWM-2・21.275MHz)
4	1991.12.28	Argentina	LU	4000+4000 A	B157	アマチュア衛星LUSAT-1・OSCAR-19
5	1993.06.15	D.P.R. Korea	P5	50 ch	3229	ARDF 1990の世界チャンピオン Kim Young Ok
6	1993.06.15	D.P.R. Korea	P5	50 ch x 6	3227a	同上を含む小型シート
7	1996.06.26	Indonesia	YB	150 Rp	1662h	第6回ナショナルジャンボリー1996
8	1996.09.27	Indonesia	YB	1250 Rp	1662j	イスタンブール 1996 世界切手展
9	2008.09.02	Korea	HL	250 won	2291	第14回世界ARDFチャンピオンシップ





写真5 朝鮮民主主義人民共和國：ARDFの世界チャンピオン



写真6 朝鮮民主主義人民共和國… ARDFを含む，同国の世界チャンピオンの小型シート



写真7 インドネシア：第6回ナショナルジャンボリー記念切手

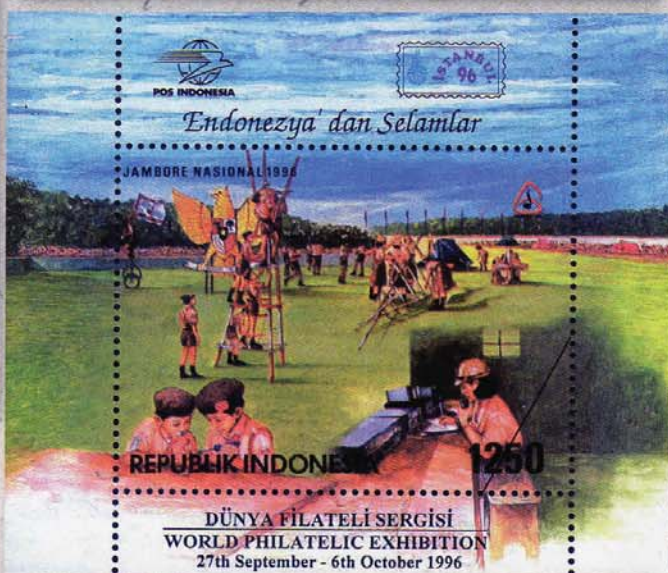


写真8 インドネシア…イスタンブール世界切手展の記念小型シート

**5～6. 朝鮮民主主義人民共和國  
1993年6月15日発行  
ARDFの世界チャンピオン**

朝鮮民主主義人民共和國のスポーツ選手を描いた6種類の切手のうちの1枚で、1990年9月10日から15日かけてチェコスロバキアで開かれた、第5回世界ARDFチャンピオンシップで優勝したKim Yong Okさんが描かれた切手です(写真5)。また、この6種類の切手のなかから3種類を組み合わせた小型シートも発行されました(写真6)。

**7. インドネシア  
1996年6月26日発行  
第6回ナショナルジャンボリー1996記念**

1996年6月26日から7月4日までジャカルタのチブブール(Cibubur)で開かれた、第6回インドネシア・ジャンボリーを記念して発行された8種類の切手ですが、4種類ずつ組み合わせ、田型の連刷にしています(写真7)。そのうち右下の1枚に、ア

マチュア無線を運用する女性が描かれています。

**8. インドネシア  
1996年9月27日発行  
イスタンブール1996世界切手展記念**

1996年9月27日から10月6日にかけて、トルコのイスタンブールで開催された世界切手展「ISTANBUL'96」を記念して発行された高額の小型シートです(写真8)。図案自体は前述の写真7の第6回ナショナルジャンボリー1996記念切手と同じですが、4枚分の図案を1枚にした大型切手になっています。

**9. 韓国(大韓民国)  
2008年9月2日発行  
第14回世界ARDFチャンピオンシップ記念**

この切手は2008年9月2日から7日にかけて、韓国の華城市で開かれた第14回世界ARDFチャンピオンシップを記念して発行されたものです(写真9)。

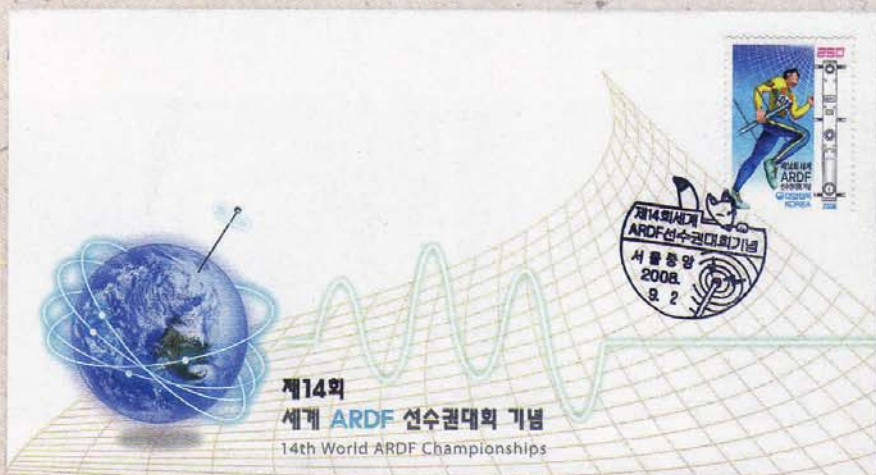


写真9 韓国：第14回世界ARDFチャンピオンシップの記念切手のFDC



# アマチュア無線の切手

## その9 アマチュア無線家が描かれた切手 その1—先駆者

日本郵趣協会 (JPS) 正会員  
日本アマチュア無線郵趣同好会 (JAHSS) 会員 **JA3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa**

「準アマチュア無線の切手」の続きとして、今月号からは「アマチュア無線家が描かれた切手」で、その1回目である今回は「先駆者」を紹介します。先駆者ですからアマチュア無線がまだなかった時代、というより無線通信を切り開いた人たちを含んでいます。

### 1. クロード・シャップ (Claude Chappe, 1763-1805, フランス) 腕木通信の発明

1793年にフランスのシャップによって腕木通信が発明され、フランス各地に腕木通信局を設置し、ナポレオン政権を支えたと言われていいます。ここではそのシャップが描かれた切手(写真1)を紹介します。この切手はパリで開かれた電信電話国際会議を記念して、1949年6月13日にフランスで発行されたものです。

### 2. アレクサンドル・ポポフ (Aleksandr S. Popov, 1859-1905, ロシア) 無線通信の発明

ロシアの海軍兵学校の物理学教授だったポポフは、1895年に雷の研究からヒントを得てアンテナを使用



写真1 フランス：電信電話国際会議記念切手(クロード・シャップ)



写真2 ソ連：無線通信60年記念切手(ポポフ)



写真3 ソ連：ポポフ生誕130年記念切手

した無線通信を発明しました。同時期にマルコーニも特許を出願していますが、ポポフの公開実験はマルコーニが成功した実験より4か月ほど早かったそうです。ポポフの切手はソ連だけでなく、多くの国々で発行されていますが、ここでは1955年11月5日に無線通信60周年を記念して、ソ連で発行されたポポフの切手を紹介します(写真2)。

また1989年10月5日には、ソ連からポポフ生誕130周年記念切手(写真3)が発行されています。ロシアではポポフが公開実験に成功した5月7日を無線通信の日として祝日にし、その週末にCQ-M International

DX Contestを行っています。

### 3. グリエルモ・マルコーニ (Guglielmo Marconi, 1874-1937, イタリア) 無線通信の発明

マルコーニについては説明の必要もないと思いますが、世界の多くの国でマルコーニの切手が発行されています。

まず、1974年4月24日にイタリアで発行された、マルコーニ生誕100周年切手を紹介します(写真4)。もう一つは、1995年9月5日に英国で発行された、無線通信100周年記念切手のFDCです(写真5)。これにはRSGBのロゴが入った、発行初日用の特別な消印です。筆者は当時英

表1 準アマチュア無線の切手の一例(無線家—先駆者編)

番号	コールサイン	名前	発行日	国	額面	カタログ	備考
No.	Callsign	Name	Issue Date	Country	Face Value	Scott No.	Remarks
1	腕木通信	クロード・シャップ Claude Chappe	1944.08.14	France	4 fr	474	シャップの腕木通信機発明150年
			1949.06.13	France	10 fr	625	電信電話国際会議 in パリ(4種類のうちの1種類)
2	無線通信	アレクサンドル・ポポフ Aleksandr S. Popov	1955.11.05	Russia (USSR)	40 k	1759	無線通信発明60年(2種類のうちの1種類)
			1989.10.05	Russia (USSR)	10 k	5809	ポポフ生誕130年
3	無線通信	グリエルモ・マルコーニ Guglielmo Marconi	1974.04.24	Italy	50 lira, 90 lira	1141 - 42	マルコーニ生誕100年(2種類)
			1995.09.05	U.K.	41 p, 60 p	1627 - 28	無線通信100年(2種類)
4	1BCG	エドウィン・アームストロング Edwin Howard Armstrong	1959.12.07	Czechoslovakia	2 korunos	954	無線通信関係の発明家(6種類のうちの1種類)
			1983.09.21	U.S.A.	20 c	2056	アメリカの発明家(4種類のうちの1種類)
5	RAEM	アーネスト・クレンケル Ernest Teodrovich Krenkel	1973.05.20	Russia (USSR)	4 k	4084	極地探検家クレンケル
			1979.12.25	Russia (USSR)	4 k	4801	探検家のポートレートと探検船(6種類のうちの1種類)





写真4 イタリア…マルコーニ生誕100年記念切手

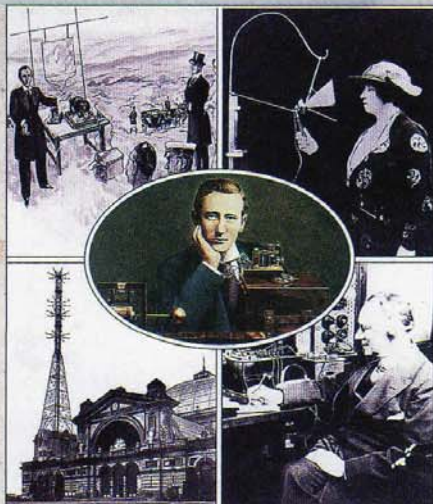


写真5 英国：無線通信100年記念切手のFDC(マルコーニ)



Produced as part of the Marconi Centenary Celebrations and with permission of

**GEC-Marconi**

A. G. Bradbury, 3 Link Road, Leicester, L.F.D.C. No. 135

国に駐在していたので、この発行に合わせてアマチュア無線の切手の記事を、RSGBの機関誌「RadCom」に書かせていただきました。

**4. エドウィン・アームストロング**  
(Edwin Howard Armstrong, 1890-1954, アメリカ)  
FMの発明者(コールサイン: IBCG)

アームストロングはアメリカの電気工学研究者で、FM(周波数変調)の発明者として知られていますが、1933年にFMを発明する以前にも、1914年には再生回路、1918年にはスーパーヘテロダイン方式、1922年には超再生回路を発明するなど、無線通信の発達に貢献しています。

1959年12月7日にチェコスロバキアから発行された、無線通信関係の発明家の6種類の切手のうち1種類



写真6 チェコスロバキア：無線通信の発明家・アームストロング

**5. アーネスト・クレンケル**  
(Ernest Teodorovich Krenkel, 1903-1971, ロシア)  
極地探検家(コールサイン: RAEM)

クレンケルは極地探検家で、コールサインはRAEMです。探検船や極地の無線局を背景に描いたクレンケルの切手が、1973年5月20日



写真8 ソ連：極地探検家・クレンケル

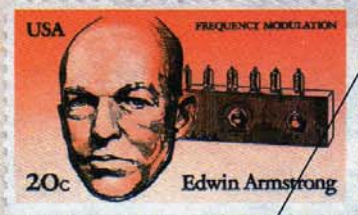


写真7 米国：アメリカの発明家・アームストロング

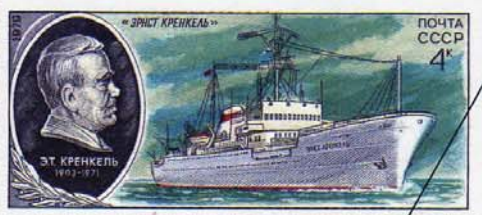


写真9 ソ連：探検家クレンケルのポートレートと探検船

にソ連から発行されています(写真8)。また、1979年12月25日に発行されたソ連の探検家と探検船の6種類の切手のうち1種類にも、クレンケルが描かれています(写真9)。UA9AB Gene(写真10)によると、クレンケルは1959年から1971年まで、ソ連のアマチュア無線連盟(Russian Radio Sports Federation)の会長であったほか、郵趣家として1966年から1971年まで、ソ連の郵趣協会(USSR Philatelic Society)の会長でもあり、毎年12月に開催されるRAEM Contestは、彼にちなんだコンテストだそうです。◎◎



写真10 ロシアの郵趣家UA9AB Mr. Gene T. Shcumat  
UA9AB GeneはJA9AA 円間さんから紹介されたと、ロシアの切手やカバーの蒐集に協力してくれている。2009年にDXCC 342を完成し、現在はQRPのCWオンリーで再度挑戦しているDXerでもある。QSL マネージャーをしたことから切手を集め始め、郵趣歴も30年以上とのこと



# アマチュア無線の切手

## その10 アマチュア無線家が描かれた切手 その2—国王

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

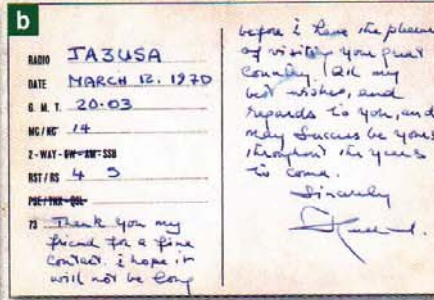


写真1  
 ヨルダン：フセイン国王の国連訪問記念切手



写真2  
 ヨルダン：フセイン国王を描いた通常切手

写真3 JA3USA 島本さんへ届いたJY1のQSLカード(a: 表面, b: 裏面)とc: 封筒



今回は「アマチュア無線家」が描かれた切手の2回目として「国王」を紹介します。今回掲載するほかにもたくさんの切手がありますので、この記事ヒントにぜひ皆さんも探してみてください。

### 1. フセイン国王(1935-1999) King Hussein Bin Talal ヨルダンの国王, コールサイン: JY1

アマチュア無線家である国王のなかでも、フセイン国王はアクティブでした。本誌2012年4月号で紹介したヨルダンの5種類の切手には、シャックでマイクを握る国王とコールサインのJY1が描かれています。国王を描いた切手は数多く発行されていますが、ここでは1965年10月5日発行の国連訪問記念切手(写真1)と、1966年1月15日発行の通常切手(写真2)を紹介します。

1970年にJY1とQSOされたJA3USA 島本さんは、ダイレクトで送られてきたQSLカードを封筒(写真3)と共に今でも大切にしています。フセイン国王にとって、これが日本との最初の交信だったようです。

### 2. カルロス国王(1938- ) King Juan Carlos I スペインの国王, コールサイン: EA0JC

本誌1979年11月号に「スペイン(EA)の国王がハム(EA0JC)をはじめた!」と題した記事が掲載され、アイコムがスペインの連盟UREを通じてIC-710を贈呈した旨の報道がなされました。それ以来、国王はUREの名誉会長のようです。

ここでは1975年12月29日発行の国王即位記念切手(写真4)と、2002年1月2日発行の通常切手(写真5)を紹介します。前者は国王即位の記念

表1 準アマチュア無線の切手の一例(無線家—国王編)

番号 No.	コールサイン Callsign	名前 Name	発行日 Issue Date	国 Country	額面 Face Value	カタログ Scott No.	備考 Remarks
1	JY1	キング・フセイン King Hussein Bin Talal	1965.10.05	Jordan	50 fils	523C	フセイン国王の国連訪問記念(4種類のうちの1種類)
			1966.01.15	Jordan	1 fils	528	通常切手(17種類のうちの1種類)
2	EA0JC	キング・カルロス King Juan Carlos I	1975.12.29	Spain	3 peseta	1927	カルロス国王即位記念(4種類のうちの1種類)
			2002.01.02	Spain	2 euro	3140	通常切手(8種類のうちの1種類)
3	HS1A	キング・プミボン King Bhumibol Adulyadej	1996.08.04	Thailand	2 b	1681	全国通信の日(National Communication Day)記念
			2011.12.05	Thailand	100 b	未	プミボン国王生誕84年記念
4	CN8MH	キング・ハッサン King Hassan II / Moulay Hassan	1981.03.03	Morocco	1.30 d	482	ハッサン国王即位20周年記念
			1991.09.02	Morocco	1.35 d	715	通常切手(6種類のうちの1種類)
5	A41AA	サルタン・カブース Sultan Qaboos Bin Said	2007.11.18	Oman	100 b	487	第37回国家の日(National Day)記念
			2010.11.18	Oman	100 b+150 b	未	第40回国家の日記念(2種類を収めた小型シート)





写真4 スペイン:カルロス3国王即位記念切手



写真5 スペイン:カルロス3国王を描いた通常切手



写真6 タイ:プミボン国王が描かれた「全国通信の日」記念切手



写真7 タイ:プミボン国王生誕84年記念切手



写真8 モロッコ:ハッサン国王即位20周年記念切手



写真9 モロッコ:ハッサン国王を描いた通常切手



写真10 オマーン:カブース国王を描いた第37回「国家の日」記念切手



写真11 オマーン:カブース国王を描いた第40回「国家の日」記念切手の小型シート

### 4. ハッサン国王 (1929-1999) King Hassan II/Moulay Hassan モロッコの国王, コールサイン: CN8MH

モロッコのハッサン国王もアマチュア無線家だったようです。国王の切手は多く発行されていますが、ここでは1981年3月3日発行の国王即位20周年記念切手(写真8)と、1991年9月2日発行の通常切手(写真9)を紹介しします。後者は6種類のうちの1種類です。

### 5. サイド国王 (1940- ) Sultan Qaboos Bin Said オマーンの国王, コールサイン: A11AA

オマーンで発行されたROARSの

切手は、本誌2012年6月号と7月号でも紹介しました。国王もアマチュア無線家です。正式にはサルタンですが、国王と訳させていただきます。

ここでは2007年11月18日に第37回「国家の日」(National Day)を記念して発行された切手(写真10)と、2010年11月18日に同じ目的で発行された記念切手(写真11)を紹介しします。毎年11月18日に発行される、国家の日を記念した切手には国王が描かれていますが、2010年は第40回の節目に当たるためか、丸型の切手2種類を収めた金色の豪華な小型シートです。☺☺

切手4種類のうちの1種類で、後者は貨幣単位がユーロになったあとの、通常切手8種類のうちの1種類です。

### 3. プミボン国王 (1927- ) King Bhumibol Adulyadej タイの国王, コールサイン: HSIA

タイのプミボン国王も、アマチュア無線家としてタイのアマチュア無線連盟RASTをサポートするなど親しまれています。ここでは1996年8月4日に発行された、トランシーバを手にする国王を描いた切手(写真6)と、2011年12月5日発行の国王生誕84年を祝う記念切手(写真7)を紹介しします。前者はタイの「全国通信の日」の記念切手です。毎年8月4日の通信の日に記念切手を発行しており、無線通信に造詣が深い国王が描かれることがあります。後者は84歳が干支の7周目ということで、七角形になっている切手です。

世界の皇室	
3Z200	Prince Khalid Abdullah Bin Ness- サウジアラビア皇太子 (SK 2001)
3R2CS	Prince Younis Al-Sabah- クウェート皇太子
A11AA	Qaboos Bin Said Al-Said- オマーン国王
AC3PT	King Palden Thondup Nangyal- 元ブータン国王 (SK)
CN8MH	King Hassan II (Moulay Hassan)- 後モロッコ国王 (SK 1999)
EAGK	Juan Carlos- スペイン国王
EP1MP	HH Prince Mohamad Pahlavi- 元イラン皇太子
HSIA	Bhumiphol Adulyadej- タイ国王
HS1LV	Prince Tilghaan- タイ皇太子
HZ1SH	Prince Faisal Bin Mishaal- サウジアラビア皇太子
HZ1TA	Prince Talal bin Abdulaziz- サウジアラビア皇太子
JY1	King Hussein- ヨルダン国王 (SK 1999)
JY2	Queen of above- ヨルダン女王
JY2HT	HH Prince El Hassan bin Talal- 故アゼン国王の弟
JY2K	Prince Raed- 故アゼン国王の次男
JY2RZ	HH Prince Raed Bin Zaid- ヨルダン皇太子
SU1VN	Prince Talal bin Abdul Aziz- サウジアラビア皇太子
文化人	
AJ1T	Dr. Joseph Taylor Jr- 1993年ノベル物理学賞受賞者
N31C	George Swingett- コードレス電話の発明者
XE1K	Guillermo Gonzalez Camarena- カラーTV機開発者
KB0GSD	Walter Cronkite- 元CBS-TV News アンカーマン
UA1D	Yuri Gagarin- 世界初の宇宙飛行士
KB0GSD	本誌に多数の寄稿者

写真12 関ハムの会場で展示された、世界の皇室や文化人のハムの一覧パネル



写真13 関ハム会場にてJA3USA 島本さん 有名人のハムの一覧表(写真12)は、2002年に大阪で開かれた「アマチュア無線再開50周年記念行事」での展示物の一つとして島本さんが作られたもの。「アマチュア無線家の切手」の調査に役立っている



# アマチュア無線の切手

## その11 アマチュア無線家が描かれた切手 その3 — 政治家

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 *Taizo Arakawa*  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員



写真1 ブラジル：ジュセリーノ・クビチェック生誕100年記念切手

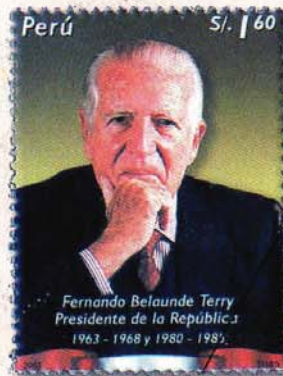


写真2 ペルー：元ペルー大統領フェルナンド・ベラウンデ・テリーの記念切手

プロジェクトを立ち上げ、ペルーの近代民主主義の父として称えられています。2002年に89歳で亡くなったベラウンデの葬儀は、同国の元大統領では最大の壮さだったそうです。ここに紹介するベラウンデの記念切手(写真2)には、彼の業績を顕彰するかのよう、大きく肖像が描かれています。

今回はアマチュア無線家が描かれた切手の3回目として、政治家を紹介します。これらは筆者が入手した切手の一部ですが、ほかにもたくさんありますので皆さんも探してみてください。なお、本文の情報の一部はWeb百科事典「ウィキペディア」から得ています。

### 1. ジュセリーノ・クビチェック・デ・オリヴェイラ (1902-1976)

Juscelino Kubitschek de Oliveira  
 ブラジルの大統領, コールサイン: PY1JKO

1956年～1961年に大統領を務めました。1955年に「50年の進歩を5年で」をスローガンに大統領選で当選し、新首都ブラジリアの建設と、リオ・デ・ジャネイロから首都を移したことで知られています。ここでは

### 2. フェルナンド・ベラウンデ・テリー (1912-2002)

Fernando Belaunde Terry  
 ペルーの大統領, コールサイン: OA4FB

1963年～1968年および1983年～1987年の2回、大統領を務めました。幹線道路、灌漑、水力発電などの

### 3. トーマス・デイビス (1917-2007) Sir Thomas Davis クック諸島の首相, コールサイン: ZK1AN

1978年～1983年および1983年～1987年の2回、首相を務めました。デ

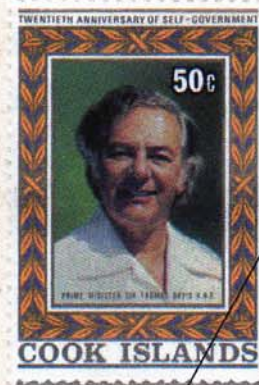


写真3 クック諸島：トーマス・デイビス首相を描いた自治政治20年記念切手

表1 準アマチュア無線の切手の一例(無線家—政治家編)

番号 No.	コールサイン Callsign	名前 Name	発行日 Issue Date	国 Country	額面 Face Value	カタログ Scott No.	備考 Remarks
1	PY1JKO	ジュセリーノ・クビチェック・デ・オリヴェイラ Juscelino Kubitschek de Oliveira	2002.04.21	Brazil	55 c	2839	ジュセリーノ・クビチェック生誕100年
2	OA4FB	フェルナンド・ベラウンデ・テリー Fernando Belaunde Terry	2003.10.07	Peru	1.60 s	1355	ペルー大統領
3	ZK1AN	トーマス・デイビス Sir Thomas Davis	1985.07.29	Cook Islands	50 c	877	自治政治20年記念(歴代首相の切手3種類のうちの1種類)
			1985.07.29	Cook Islands	55 c	879b	自治政治20年記念(歴代首相の切手3種類の小型シート)
4	YN1AS	アナスタシオ・ソモサ・デバイル Anastasio Somoza Debayle	1975.09.10	Nicaragua	20 cts	995	通常切手(2種類のうちの1種類)
			1975.09.10	Nicaragua	1 cor	C884	航空切手(3種類のうちの1種類)
5	CP1CL	ウゴ・バンセル・スアレス Hugo Banzer Suarez	1971.08.19	Bolivia	1.20 b\$	539	ボリビア開発記念
6	VU2RG	ラジブ・ラトナ・ガンジー Rajiv Ratna Gandhi	2004.08.20	India	5 r	2072	再生可能エネルギーの日記念
			2008-2009	India	5 r	2283	通常切手(通常切手シリーズの1種類)



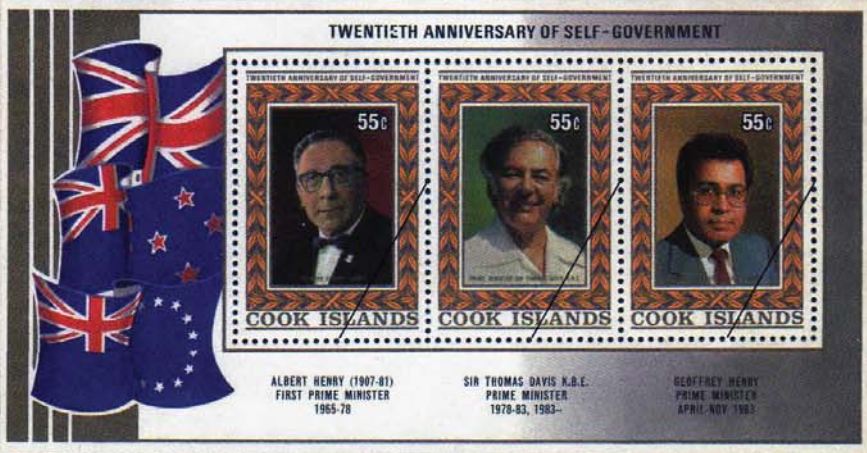


写真4 クック諸島：自治政治20年記念・歴代首相の記念切手小型シート



写真5  
ニカラグア：アナスタシオ・ソモサ・デバイレ大統領を描いた通常切手



写真6  
ニカラグア：アナスタシオ・ソモサ・デバイレ大統領を描いた航空切手

イビスはNASAで宇宙プログラムにもかかわったようで、1971年にクック諸島の民主党を創設し、のちに首相を務め、その後はニュージーランドの高等弁務官も務めたそうです。ここで紹介する切手は、クック諸島の自治政治20周年を記念した切手で、在任中のデイビスが描かれた切手(写真3)と、それを含めて歴代3人の首相の切手が収められた小型シート(写真4)です。

**1. アナスタシオ・ソモサ・デバイレ (1925-1980)**  
Anastasio Somoza Debayle  
ニカラグアの大統領、コールサイン：YNIAS

1967年～1972年および1974年～1979年の2回、大統領を務めました。しかし、自国民への蛮行を重ねて国際社会からも見放され、1980年に亡命先のパラグアイで暗殺されたそうです。ここに紹介する切手は、再選で大統領就任中の1975年に発行されたソモサを描いた通常切手(写真5)と、同図案の航空切手(写真6)です。

**5. ウゴ・バンセル・スアレス (1926-2002)**  
Hugo Banzer Suarez  
ボリビアの大統領、コールサイン：CPICL

1971年～1978年および1997年～2001年の2回、大統領を務めた軍人です。最初はクーデターにより就任し、2回目は公式に選出されたのですが、2001年に肺がんのため大統領職を退き、副大統領に道を譲ったそうです。ここで紹介するのはボリビア開発の記念切手(写真7)です。開発事業を背景に、バンセル大統領が描かれています。

**6. ラジブ・ラトナ・ガンジー (1944-1991)**  
Rajiv Ratna Gandhi  
インドの首相、  
コールサイン：VU2RG

1984年～1989年に首相を務めました。インドの初代首相であるネルー首相の娘、インディラ・ガンジーの息子で、首相を務めた母の死により40歳の若さで首相になっています。彼は政府の官僚的システムを解体し、電気通信、工業、教育などの

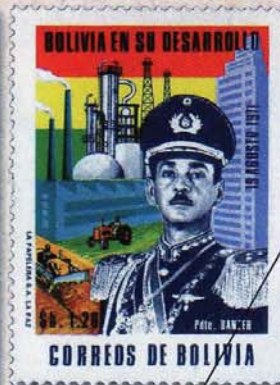


写真7  
ボリビア：ウゴ・バンセル・スアレス大統領を描いたボリビア開発記念切手

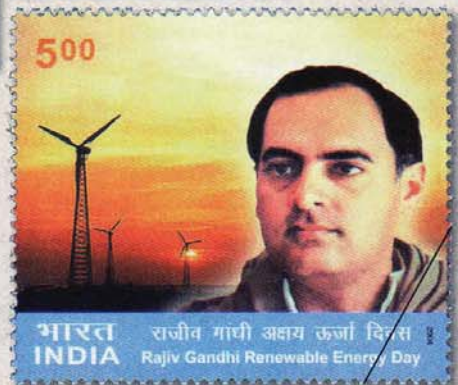


写真8 インド：ラジブ・ラトナ・ガンジー首相を描いた「再生可能エネルギーの日」記念切手



写真9  
インド：ラジブ・ラトナ・ガンジー首相を描いた通常切手

制度を近代化し、科学技術の発展に尽力したといわれています。しかし、紛争中であったスリランカにインド軍を派遣したため、反政府組織に暗殺されました。ここに紹介する切手は、風力発電を背景にラジブが描かれた「再生可能エネルギーの日」記念切手(写真8)と、彼の肖像が描かれた通常切手(写真9)です。

©

切手展で  
「アマチュア無線の切手」を展示!

第58回 河内長野市文化祭の一環として、日本郵趣協会河内長野支部が開催する「切手展」にて、「アマチュア無線の切手」掲載の切手が展示されます(一部)。

日時：10月28日(日)10時～17時  
10月29日(月)10時～15時

場所：河内長野市立文化会館(ラブリールホール)ギャラリー  
河内長野駅(南海高野線、近鉄長野線)から西へ徒歩約7分



# アマチュア無線の切手

## その12 アマチュア無線家が描かれた切手 その4 — 有名人

日本郵趣協会(JPS)正会員  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

J3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa



今回は「アマチュア無線家が描かれた切手」シリーズの最終回、第4回目として有名人を紹介します。ここで挙げたほかにも、たくさんの切手があると思います。ぜひ皆さんも探してみてください。

### 1. マキシミリアノ・マリア・コルベ (1894-1941)

Maksymilian Maria Kolbe  
ポーランド、神父・聖人、コールサイン: SP3RN

長崎で布教活動をしたこともある。ポーランドのコルベ神父は、アウシュビッツ強制収容所で餓死刑に選ばれた男性の身代わりを申し出て1941年8

月14日に死亡、1982年10月10日に教皇ヨハネ・パウロ2世によって列聖されました。ここでは、その1982年10月10日に列聖を記念して発行された切手(写真1)と、2011年8月12日に発行された逝去70年の切手(写真2)を紹介します。

### 2. ルズ・マリナ・ズルアガ (1938- ) Luz Marina Zuluaga コロンビア、ミス・ユニバース、 コールサイン: HK6LT

1958年に米国カリフォルニア州のロングビーチで開かれた、第7回ミス・ユニバース・ページェントで、19

F 写真2  
D 1  
C ポーランド…コルベ神父の列聖記念切手の

写真2  
ポーランド:  
コルベ神父  
の逝去70年  
記念切手



歳のルズ・マリナ・ズルアガが選ばれました。1959年6月26日にルズを描いた3種類の記念切手が発行されています。写真3は、そのうちの1枚です。

### 3. 植村直己 (1941-1984) Naomi Uemura 日本、冒険家、 コールサイン: JG1QFW

日本の冒険家・植村直己さんは、1978年にグリーンランドを縦断しました。デンマーク政府は1984年(死後)にその功績を称え、到達点「ヌナタック峰」を「ヌナタック・ウエムラ峰」と命名しました。写真4は、2011年7月28日に彼の生誕70年を記念して、グリーンランドで発行された記念切手です。

表1 準アマチュア無線の切手の一例(無線家—有名人編)

番号 No.	コールサイン Callsign	名前 Name	発行日 Issue Date	国 Country	額面 Face Value	カタログ Scott No.	備考 Remarks
1	SP3RN	マキシミリアノ・マリア・コルベ Maksymilian Maria Kolbe	1982.10.10	Poland	27 zlotys	2540	列聖記念
			2011.08.12	Poland	1.95 zlotys	未	逝去70年記念
2	HK6LT	ルズ・マリナ・ズルアガ Luz Marina Zuluaga	1959.06.26	Colombia	10 centavos	697	ミス・ユニバース1958年選出記念
3	JG1QFW	植村直己 Naomi Uemura	2011.07.28	Greenland	36.50 krone	未	生誕70年記念
4	UA1LO	ユーリ・ガガーリン Yuri A. Gagarin	1977.10.04	Russia (USSR)	10 k	4589	人工衛星20年記念(6種類のうちの1種類)
			2011.04.12	Russia	50 p	未	有人宇宙飛行50年記念の小型シート
5	W5LFL	オーエン・ガリオット Owen Garriott	1999	Niger	600 fr	1020d	宇宙飛行士4人の小型シート (シート内4種類のうちの1種類)
6	7L2NJY	毛利衛 Mamoru Mohri	1994	Ghana	300 cedi	1701g	宇宙飛行士9人の小型シート (シート内9種類のうちの1種類)
7	9W2MUS	シェイクムザファ・シュコア Sheikh Muszaphar Shukor	2008.10.21	Malaysia	50 sen	1218	アンカサワン宇宙飛行計画記念 (3種類のうちの1種類)





写真3 コロンビア：ルズの1958年ミス・ユニバース記念切手



写真4 グリーンランド：植村直己の生誕70年記念切手  
ました。写真7は、1999年にニジェールで発行された4人の宇宙飛行士を描いた小型シートのうちの1枚です。

**4. ユーリ・ガガーリン (1934-1968)**  
Yuri A. Gagarin  
ロシア、宇宙飛行士、  
コールサイン：UAILO

ガガーリンはロシア(ソ連)が誇る世界で初めての宇宙飛行士(1961年に初飛行)であり、ロシアはもとより多くの国で彼を描いた切手が発行されています。ここでは、1977年10月4日に発行された人工衛星20年記念切手(写真5)と、2011年4月12日に発行された有人宇宙飛行50年の記念切手(写真6)を紹介します。

**5. オーエン・ガリオット (1930-)**  
Owen Garriott  
アメリカ、宇宙飛行士、  
コールサイン：W5LFL

ガリオットはNASAの宇宙飛行士で、1973年に60日間の、1983年に10日間の宇宙飛行をして、宇宙から世界初のアマチュア無線通信を行い

**6. 毛利 衛 (1948-)**  
Mamoru Mohri  
日本、宇宙飛行士、  
コールサイン：7L2NJY

毛利 衛さんはJAXAの宇宙飛行士で、1992年9月と、2000年2月にエンデバーで宇宙飛行を行った、日本人初のスペースシャトル搭乗者です。写真8は、1994年にガーナで発行された9人の宇宙飛行士を描いた小型シートのうちの1枚です。

**7. シェイク・ムザファ・シュコア (1972-)**  
Sheikh Muszaphar Shukor  
マレーシア、宇宙飛行士、  
コールサイン：9W2MUS

シュコアは、マレーシアのアンカサワン宇宙飛行計画での公開選考試験で選ばれた、マレーシア人初の宇宙飛行士です。2007年10月14日から20日にかけて、飛行中の国際宇宙ステーションから5回のARISS



写真6 ロシア：ガガーリンが描かれた有人宇宙飛行50年記念切手小型シート



写真7 ニジェール…アメリカのガリオット宇宙飛行士が描かれた記念切手(小型シートのうちの1枚)



写真8 ガーナ：日本の毛利衛 宇宙飛行士が描かれた記念切手(小型シートのうちの1枚)

スクール・コンタクトを行いました。ここでは、アンカサワン宇宙飛行計画の3種類の記念切手から、シュコア宇宙飛行士が描かれた1枚(写真9)を紹介します。

写真5 ソ連(ロシア)…ガガーリンが描かれた人工衛星20年記念切手のFDC



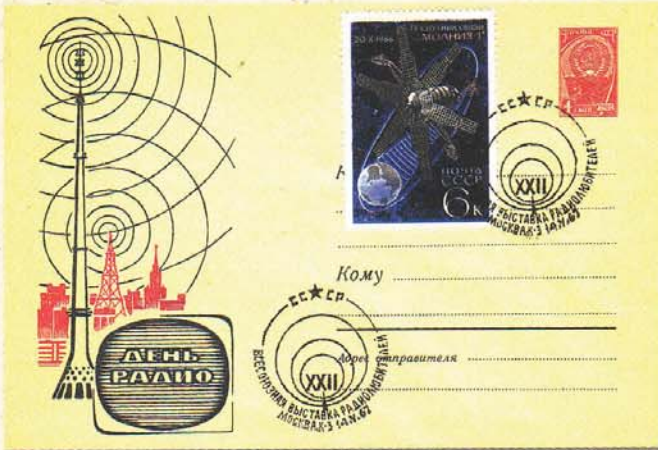
写真9 マレーシア…シェイク・ムザファア宇宙飛行士が描かれた記念切手



# アマチュア無線の切手

## その13 アマチュア無線に関する「切手つき封筒」

日本郵趣協会(JPS)正会員  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員 **JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa**



▲写真1

ソ連：第22回アマチュア無線連合展示会記念切手つき封筒(記念印)



写真2 ソ連：第29回アマチュア無線連合展示会記念切手つき封筒(記念印)



▶写真3

ソ連：第32回アマチュア無線連合展示会記念切手つき

ようです。

ここでは第22回として1967年に発行され、5月14日の記念消印が押された「切手つき封筒」(写真1)、第29回として1979年3月22日に発行され、5月20日の記念消印が押された「切手つき封筒」(写真2)、第32回として1985年3月22日に発行された「切手つき封筒」(写真3)を紹介します。

4-5. ソ連(ロシア)：1973年発行、極地探検家アーネスト・クレンケル(RAEM)生誕70年記念

クレンケル(1903-1971)の切手は本誌2012年9月号でも紹介しましたが、コールサインがRAEMの極地探検家です。1959年から1971年までソ連のアマチュア無線連盟の会長を務めました。死去後の1973年に生誕

過去12回にわたって「切手」そのものを紹介してきましたが、今回は「切手つき封筒」を紹介します(表1)。これは郵便料額切手が印刷された封筒で、日本では1949年に発行された8円の「切手つき封筒」以来発行されていませんから、なじみが薄いかもかもしれません。

似たものに郵便書簡や航空書簡がありますが、残念ながらアマチュア無線に関係したものはありません。多くの国で発行されているこれらの「切手つき封筒」でも、アマチュア無線に関するものは少なく、ほとんどがソ連(ロシア)のもので、ここでは筆者のコレクションから紹介します。ほかにもいろいろありますので皆さんもぜひ探してみてください。

1-3. ソ連(ロシア)：1967年発行、第22回アマチュア無線連合展示会記念

ソ連の第30回アマチュア無線連合展示会の記念切手は本誌2012年3月号で紹介しましたが、ほぼ2年に1回のペースでモスクワで開催されるこの展示会を記念した「切手つき封筒」は、過去何度も発行されている

表1 アマチュア無線の「切手つき封筒」の一例

番号 No.	国 Country	発行目的 Purpose of Issue	発行日 Issue Date	記念消印日 Cancellation Date	額面 Face Value
1	Russia(USSR)	第22回アマチュア無線連合展示会記念	1967	1967.05.14	4 kop
2	Russia(USSR)	第29回アマチュア無線連合展示会記念	1979.03.22	1979.05.20	4 kop
3	Russia(USSR)	第32回アマチュア無線連合展示会記念	1985.03.22	1985.04.26	5 kop
4	Russia(USSR)	極地探検家クレンケル(RAEM)生誕70年記念	1973	1973.12.24	4 kop
5	Russia(USSR)	極地探検家クレンケル(RAEM)生誕80年記念	1983	1983.12.24	5 kop
6	Russia(USSR)	無線雑誌「RADIO」発刊50周年記念	1974.03.20	1974.08.22	4 kop
7	Australia	WIAとアマチュア無線の75周年記念	1985.05.22	1985.05.22	33 c



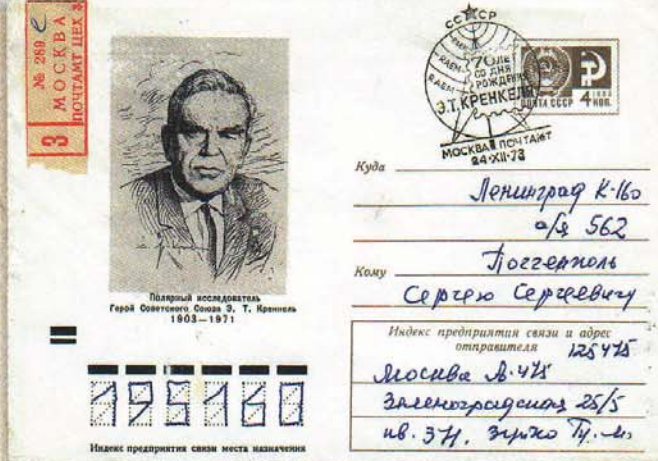


写真4 ソ連：極地探検家クレンケル(RAEM)生誕70年記念切手つき封筒(記念印つき実通)

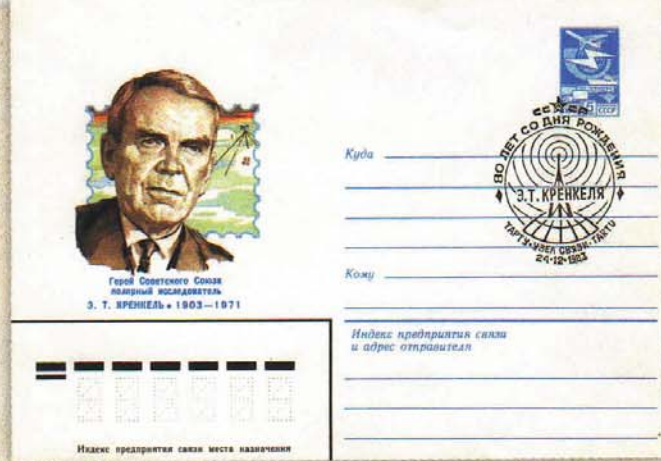


写真5 ソ連：極地探検家クレンケル(RAEM)生誕80年記念切手つき封筒(記念印)

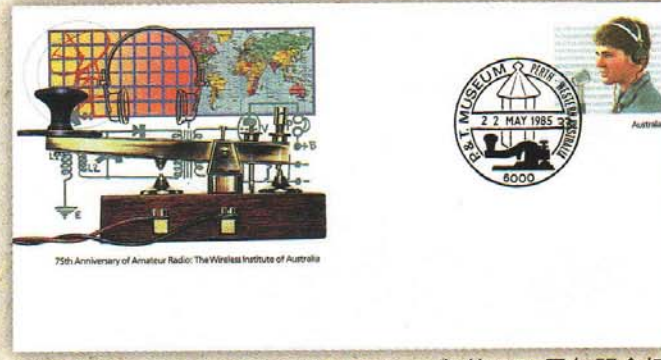


写真7 オーストラリア：WIAとアマチュア無線の75周年記念切手つき封筒(初日記念印)

写真6 ソ連：無線雑誌「RADIO」発刊50周年記念切手つき封筒

70年記念の「切手つき封筒」が発行され、12月24日の誕生日に記念の消印が押されています(写真4)。また、1983年には生誕80年記念の「切手つき封筒」が発行され、12月24日に記念の消印が押されました(写真5)。

**6. ソ連(ロシア)：1974年3月20日発行、無線雑誌「RADIO」発刊50周年記念**

ソ連で無線雑誌「RADIO」が1924年に発刊されて以来、多くのソ連(ロシア)のアマチュア無線家を育ててきたものと思われていますが、その50周年記念の「切手つき封筒」が1974年3月20日に発行され(写真6)、8月22日には記念の消印が使用されました。また、1984年には60周年記念の「切手つき封筒」も発行されています。

**7. オーストラリア：1985年5月22日発行、WIAとアマチュア無線の75周年記念**

オーストラリアのアマチュア無線連盟WIA(The Wireless Institute of Australia)は、世界で最も古いアマ

チュア無線のクラブの一つです。このWIAとオーストラリアのアマチュア無線の75周年を記念して、1985年5月22日に記念の「切手つき封筒」が発行されました(写真7)。

封筒には電鍵を大きく描き、その背景には受信機の回路図、パラボラ・アンテナ、ヘッドホン、世界地図などをカラフルに描いています。切手の部分には無線通信中のアマチュア無線家が描かれています。初日印はパースの通信博物館にある郵便局の消印で、ここにも電鍵のシルエットが描かれています。

\* \* \*

2012年1月号p.69で紹介した「表1 純アマチュア無線の切手一覧表」の35番と36番の切手の紹介が漏れていました。ここで紹介いたします。

**35～36. ニカラグア：1983年10月7日発行、FRACAP'83記念**

1983年10月7日から9日まで、首都マナグアで開かれた、中央アメリカ・ア

マチュア無線連合(FRACAP)1983年度会議を記念したもので、1975年にはコスタリカから同種の切手が発行されています(本誌2012年2月号参照)。

2種のうち低額の1.00cordoba(写真8上)は海難通信を、高額の4.00cordoba(写真8下)はFRACAPのロゴと地震を描いています。1972年12月に発生したマナグアの大地震を思い出される方もいるのではないのでしょうか。◎◎



写真8 ニカラグア：FRACAP記念切手



# アマチュア無線の切手

## その14 アマチュア無線に関する「郵便はがき」

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員



写真1 ポーランド：PZK 40年記念はがき(初日記念印)



写真3 ソ連：北極へのDXペディション(U0K)記念はがき

前回の「切手つき封筒」に続き、今回は「郵便はがき」です。アマチュア無線に関するものは少なく、官製はがきに印刷されたものも含めています。ここでは筆者のコレクションから紹介しますが、ほかにもいろいろあると思われるので、皆さんもぜひ探してみてください。



写真2 日本：アマチュア無線50年記念はがき

### 1. ポーランド： 1970年10月9日発行、 PZK 40年記念

本誌2012年1月号および2月号で、ポーランドのアマチュア無線連盟PZKのロゴの入った切手を紹介しましたが、そのPZKの40周年の記念はがきです(写真1)。印面にはアンテナの指向性を表すようなグラフが、そしてはがきの左側には、北極を中心とする大圏世界地図上にSPとポーランドのプリフィックスが描かれています。

### 2. 日本：1977年9月24日発行、 日本のアマチュア無線50年記念

本誌2012年2月号で紹介した日本の「アマチュア無線50年」記念切手

と時を同じくして、鹿児島県の北薩郵趣会が、当時使用されていた官製はがきに図案を印刷したものです(写真2)。

また、北薩郵趣会がこの時期に合わせ、鹿児島県大口市(現在の伊佐市)で切手展を開き、官製はがきの下の部分に図案を印刷した「日本のアマチュア無線50年切手発行記念切手展記念」の記念はがきを制作、大口郵便局の小型記念通信日付印が使われました。

### 3. ソ連(ロシア)： 1979年7月25日発行、極地への DXペディション(U0K)記念

ソ連のアマチュア無線家たちが、U0Kのコールサインで北極地点へのDXペディションを行った記念に

表1 アマチュア無線の「郵便はがき」の一例

番号 No.	国 Country	発行目的 Purpose of Issue	発行日 Issue Date	記念消印日 Cancellation Date	額面 Face Value
1	Poland	PZK 40年	1970.10.09	1970.10.09	40 groszy
2	Japan	日本のアマチュア無線50年	1977.09.24	(1997.09.24)	20 yen
3	Russia (USSR)	北極へのDXペディション U0K	1979.07.25		4 kopecks
4	Poland	PZK 50年	1980.02.24	1980.02.24	2 zlotys
5	San Marino	コルベ神父 SP3RN 列聖	1982		250 lire
6	Japan	第32回JARLかなざわ総会	1990.05.27	1990.05.27	41 yen
7	Korea	韓国のアマチュア無線40年 HL0HQ	1995.04.20	1995.04.20	100 won



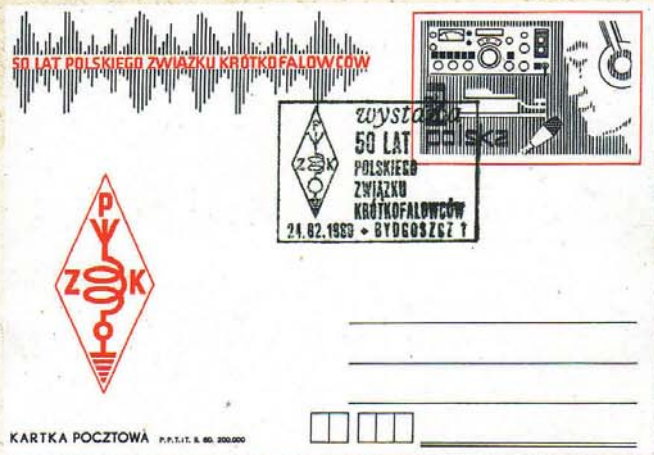


写真4 ポーランド：PZK 50年記念はがき(初日記念印)

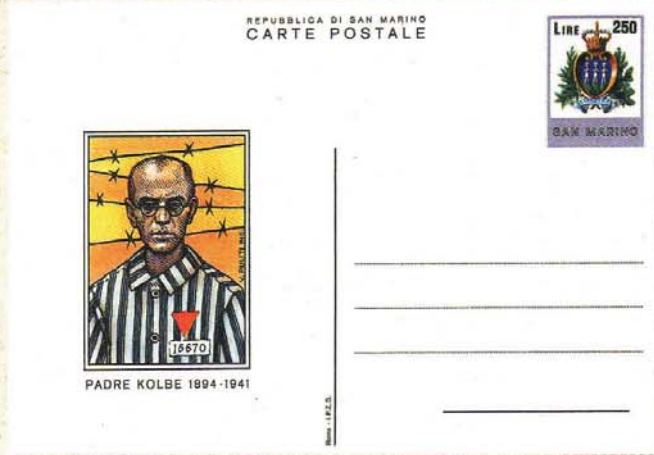


写真5 サンマリノ：コルベ神父(SP3RN)列聖記念はがき

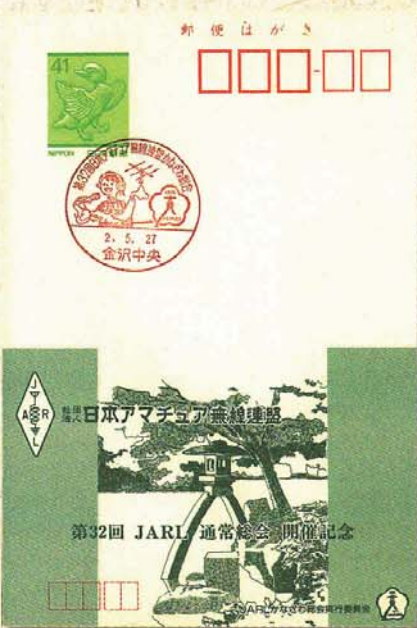


写真6 日本：第32回JARLかなざわ総会記念はがき(記念印)



写真7 韓国：アマチュア無線40年記念(HL0HQ)はがき(初日記念印)

発行された記念はがきです(写真3)。印面には北極地点でテントを張り、ソ連の国旗を立てる隊員たちの姿と、U0EKのコールサインと共に、交信中のオペレーターが描かれています。また、はがきの左側にはスキーで極地に向かう人たちが描かれています。

**4. ポーランド：  
1980年2月24日発行、  
PZK 50年記念**

1970年に発行された記念はがきと同じ目的で発行された、ポーランドのアマチュア無線連盟PZKの50周年の記念はがきです(写真4)。印面にはヘッドホンをかけマイクに向かうオペレーターの顔と、通信機および電鍵がデザインされています。そして、はがきの左側にはPZKのロ

ゴが大きく描かれています。

**5. サンマリノ：  
1982年発行、  
コルベ神父(SP3RN)列聖記念**

本誌2012年12月号で、ポーランドのコルベ神父の列聖記念切手を紹介しましたが、サンマリノで同じ目的で発行された記念はがきです(写真5)。長崎で布教活動をしたこともあるコルベ神父は、アウシュビッツ強制収容所で餓死刑に選ばれた男性の身代わりを申し出て1941年8月14日に死亡、1982年10月10日に教皇ヨハネ・パウロ2世によって列聖されました。

**6. 日本：1990年5月27日発行、  
第32回JARLかなざわ総会記念**

石川県金沢市で開かれた、第32回JARL通常総会(通称：かなざわ総会)を記念して、JARLかなざわ総会実行委員会が、当時使用されていた官製はがきに図案を印刷し

たものです(写真6)。

このときは図案にアマチュア無線のオペレーター、日本地図、八木アンテナ、かなざわ総会のロゴをデザインした、金沢中央郵便局の小型記念通信日付印が使われました。

この種の記念はがきは比較的作りやすく、前年の1989年5月28日に北海道登別市で開かれた第31回JARL通常総会(通称：おにっ娘総会)でも作られ、登別郵便局の小型記念通信日付印が使われたようです。

**7. 韓国(大韓民国)：  
1995年1月20日発行、韓国のアマチュア無線  
40年記念(HL0HQ)**

韓国のアマチュア無線40周年の記念はがきです(写真7)。印面には環状にAMATEUR HAM RADIOという文字と、その中央部に韓国アマチュア無線連盟KARLのロゴが描かれています。そして、はがきの左下には40thの文字とHL0HQのコールサインがデザインされています。©



# アマチュア無線の切手

## その15 アマチュア無線に関する「記念消印とメータースタンプ」

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰歳 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員



写真1(a) ドイツ：戦後第1回ハムフェストの記念絵はがき(1947)



写真1(b) ドイツ：戦後第1回ハムフェストの記念消印(1947)

記念消印は記念切手などの発行に合わせて使われたものが多く、これまでもその一部を紹介してきましたが、今回は記念切手類が発行されなかったイベントなどの一例を紹介します。また、ジャンルは異なりますが、メータースタンプの一例も合わせて紹介します。

### 記念消印

#### 1. ドイツ：戦後第1回ハムフェスト[Stuttgart]：1947年6月7日-8日付

本誌2012年1月号で、1950年のフランスの記念消印が世界で最初の

アマチュア無線に関する郵趣品ではないかと記したところ、郵趣家の三浦正悦さんがもっと古いのがあったと思うと知らせてくれました。それがこのドイツの絵はがき[写真1(a)]の裏に押印された記念消印[写真1(b)]です。これはStuttgartで開催された、戦後第1回目のハムフェストを記念したものです。このほか翌1948年5月8日~9日のBad Lauterberg im Harzでの記念消印が、そして1949年8月22日のErlangenでの記念消印が残っており、少なくともこの3点はフランスより先になり

ます。

#### 2. ドイツ：第10回HAM RADIO[Friedrichshafen]：1985年6月29日付

フリードリヒスハーフェンで毎年開かれているHAM RADIOは、ヨーロッパ最大のハムフェストです。その第10回目の会場から、HB9RS Maxが送ってくれた記念消印[写真2(a)]と、DL4UE Manfredが送ってくれた第24回目の1999年6月24日付記念消印[写真2(b)]を紹介します。前者にはDARCのロゴと通信衛星が描かれ、後者はHAM STAMPS CLUBの第7回ミーティング記念を兼ねた図案になっています。スタンプクラブのミーティングが、このHAM RADIOで何回か開かれています。

#### 3. 米国：デイトンHAMVENTION 2012 [Dayton]：2012年5月19日付

昨年、デイトン・ハムベンション取材した本誌編集部が、アマチュア無線を運用するオペレーターをデザインした大きな記念消印が

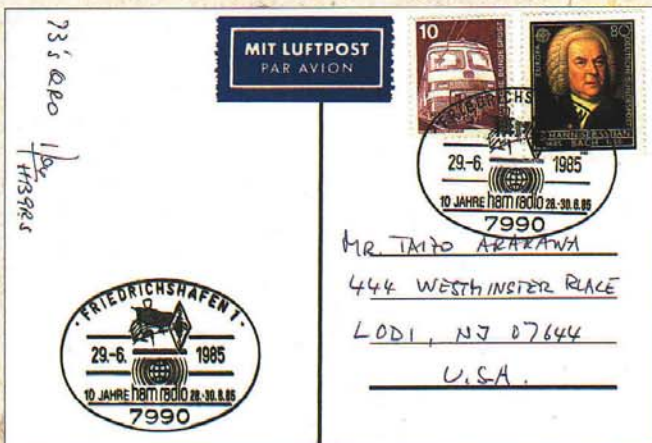


写真2(a) ドイツ：第10回HAM RADIOの記念消印がある絵はがきの実通(1985)

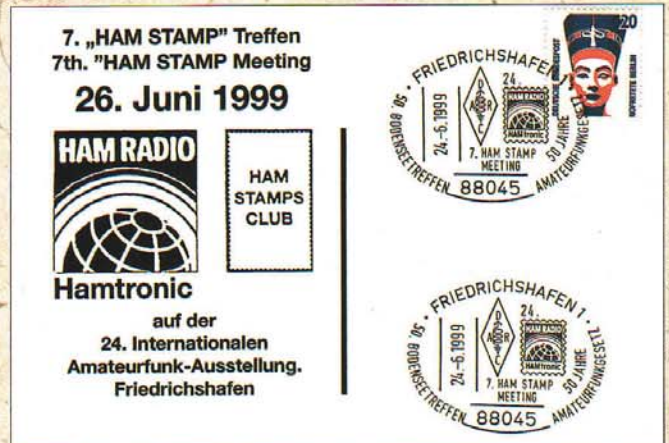


写真2(b) ドイツ：第24回HAM RADIOの記念消印がある記念カード(1999)





写真3(a) 米国：デイトンHAMVENTION 2012の2日目の記念消印がある記念カバー(2012)



写真3(b) 米国：デイトンHAMVENTION 2012の初日の記念消印(2012)



写真4 日本：第1回関東フォックスティング大会の記念消印(1985)



写真6 英国：RSGBのメータースタンプ(1994)



写真7 米国：ARRLのメータースタンプ(1932)



写真8 ドイツ：DARCのメータースタンプ(1984)



写真5(a) 日本：第46回JARLおおさか・いけだ通常総会の記念消印がある記念カード(2004)



写真5(b) 日本：第53回JARLおおさか・いけだ通常総会の記念消印(2011)

押された記念のカバー [写真3(a)] を送ってくれました。このカバーは Dayton Stamp Clubが発行し、3日間の開催期間中、毎日違ったデザインの記念消印が使われたようです。初日の18日は、地球の周りを回る通信衛星が描かれた記念消印でした [写真3(b)]。

**4. 日本：第1回 関東フォックスティング大会 [群馬・長野原]：1985年10月6日付**

1985年10月、群馬県の浅間高原で開かれた、第1回関東フォックスティング大会の記念消印です(写真4)。このほか、北軽井沢、応桑、河原湯の各郵便局でも同図案の消印が使われたようです。

**5. 日本：第46回 JARLおおさか・いけだ通常総会 [大阪・池田]：2004年5月22日付**

2004年5月に大阪府池田市で開かれた、第46回JARL通常総会を記念したものです[写真5(a)]。その後、最後の通常総会になった2011年の記念消印[写真5(b)]まで、ほぼ毎

年作られました。これはJAHSSを主宰するJA4HCK 馬場さん(写真9)が、主催地の通常総会実行委員会と郵便局の協力を得て作られたものです。

**メータースタンプ**

**6. 英国：RSGB (Radio Society of Great Britain) [Potters Bar]：1994年12月16日付**

英国アマチュア無線連盟RSGBのメータースタンプです(写真6)。現在はHQをBedfordに移しています。

**7. 米国：ARRL (American Radio Relay League) [Hartford]：1932年12月10日付**

米国アマチュア無線連盟ARRLの戦前のメータースタンプで、「OF BY and FOR THE RADIO AMATEUR」と、どこかで聞いたようなキャッチフレーズと、ARRLのロゴが入っています(写真7)。

**8. ドイツ：DARC (Deutscher Amateur Radio Club) [Kassel]：1984年9月28日付**

ドイツ・アマチュア無線連盟DA

RCが使用していたメータースタンプで、DARCのロゴが入っています(写真8)。その右にはドイツ語で「アマチュア無線は世界への架け橋」と書かれています。1987年のメータースタンプはBaunatal局になっていますが、HQが移転したのではなく、これはKasselの一部の地域のようなです。 (CC)



写真9 JA4HCK 馬場さん(写真左)、インドのバンガロール郵便局にてJAHSSを主宰し、JARL第46回通常総会から第53回通常総会まで、記念消印の制作に情熱を傾け、開催地の実行委員会や地元の郵便局の協力を得て7回の記念消印の制作を成功させました。JAHSSでは会員を募集していますので、馬場さん(ja4hck@jarl.com)までお問い合わせください。



# アマチュア無線の切手

## その16 アマチュア無線に関する「Pスタンプ」

日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

日本では、2001年8月に行われた国際切手展での限定販売以来、写真付き切手が発売されるようになり、2006年からはフレーム切手が発行されています。オリジナル切手、写真付き切手、フレーム切手などを総称して、Pスタンプ(パーソナル切手)と呼んでいます。

### 1. 韓国: IOTA AS-168 Chuk島 HL10YF 運用記念, 2003年

HL10YF Kimさんたち数名が2003年の7月19日から20日にかけて、HL2エリアで朝鮮民主主義人民共和国との休戦ライン近くのKangwon-doにある、Chuk島から運用しました。この運用でIOTAの暫定番号だったAS-168を、IOTA委員会は正式番号



写真1 韓国: IOTA AS-168 Chuk島でのHL10YF運用記念写真付き切手(2003年)

と認定しました。この運用局とQSOしたJA3UCO 細川さん(写真12)あてのQSLカードの封筒に貼られていたP切手です(写真1)。

### 2. 韓国: 第7回ワールドワイドYLミーティング2004 in Seoul記念, 2004年

筆者はJA3UB, JR3MVF 三好ご夫妻に誘われて、2004年10月8日から12日まで、韓国で初めて開かれたワールドワイドYLミーティングに参加しました(本誌2004年12月号p.140参照)。主催したKLARCのHL1KDW Chaeさんたちがミーティングのロゴを図案にP切手を作り、参加者に配布されました(写真2)。

### 3. オーストラリア: IOTA OC-220 St. Peter島 VI5PN 運用記念, 2005年

VK5エリアの南オーストラリア州



写真2 韓国: 世界YLミーティング2004 in Seoulの記念写真付き切手(2004年)



写真12 関ハムのIOTAのブースにて、JA3UCO 細川さん IOTAハンティングをこよなく愛し、ハムフェアや関ハムでは、IOTAの日本におけるチェック・ポイント、JA9IFF/1 中嶋さんをボランティア補助している。海外からのQSLカード返信の郵便物に貼られためずらしい切手も収集している

West Group OC-220のSt. Peter島から、2005年4月にVI5PNを4人で運用したとされるIOTAのDXペディションを記念して作られたP切手です。この切手も、JA3UCO 細川さん(写真12)あてのQSLカードの封筒に貼られていました(写真3)。

### 4~5. 日本: 第34回SEANETコンベンション2006 in Osaka記念, 2006年

日本で初めてのSEANETコンベン

表1 アマチュア無線に関する「Pスタンプ」の一例

番号	国	発行目的	発行日	額面
No.	Country	Purpose of Issue	Issue Date	Face Value
1	Korea	IOTA AS-168, Chuk Island, 2003, HL10YF	2003	190 Won
2	Korea	World Wide YL Meeting 2004 in Seoul	2004.10.08	190 Won
3	Australia	IOTA OC-220, St. Peter Island, 2005, VI5PN	2005	AS \$ 1.80
4	Japan	34th SEANET Convention 2006 in Osaka	2006.09.14	50 Yen&80 Yen
5	Japan	34th SEANET Convention 2006 in Osaka (フレーム)	2006.09.27	80 Yen
6	Japan	50th JLRS AGM 2007 in Tokyo (フレーム)	2007.07.08	80 Yen
7	Japan	52nd JLRS AGM 2009 in Ibusuki (フレーム)	2009.07.05	80 Yen
8	Korea	37th SEANET Convention 2009 in Korea	2009.10.23	250 Won
9	Japan	JAIG Meeting 2010 in Osaka	2010.03.25	50 Yen&80 Yen
10	Germany	JAIG Meeting 2011 in Gosla	2011.05.05	55 Cents
11	Japan	CQ ham radio 誌 800号発刊記念(フレーム)	2013.01.19	50 Yen&80 Yen



写真3 オーストラリア: IOTA OC-220 St. Peter島でのVI5PN運用記念写真付き切手(2005年)





写真4 日本:第34回SEANETコンベンション2006 in Osaka記念80円写真付き切手貼付記念カバー(2006年)

写真5 日本:第34回SEANETコンベンション2006 in Osaka記念80円フレーム切手(2006年)



写真6 日本:第50回JLRS総会 in 東京記念80円フレーム切手(2007年)



写真7 日本:第52回JLRS総会 in 指宿記念80円フレーム切手(2009年)



写真9 日本:JAIG Meeting 2010 in Osaka記念50円フレーム切手(2010年)



写真8 韓国:第37回SEANETコンベンション 2009 in Korea記念写真付き切手(2009年)



写真10 ドイツ:JAIG Meeting 2011 in Goslar記念写真付き切手(2011年)



写真11 日本:CQ ham radio誌 800号発刊記念50円フレーム切手貼付記念カバー(2013年)

ンションが、2006年9月14日から4日間、大阪で開催されました(本誌2006年11月号p.164参照)。これを記念して50円と80円の2種のP切手が作られました(写真4)。フレーム切手はこの年の9月から受付を始めたため、完成したのは9月26日となり、残念ながらイベントには間に合いませんでした(写真5)。

**6~7. 日本:第50回JLRS総会 2007 in Tokyo記念, 2007年**

2007年7月8日に東京の帝国ホテルで開かれた第50回JLRS総会の記念に、7K3EOP 戸倉典子さんが発案し、JE1NWB 井上由美子さんがデザインに協力して80円のフレーム切手が作られました(写真6)。また、2009年7月5日に指宿で開かれた第52回JLRS

総会でも、これを記念したフレーム切手が作られました(写真7)。

**8. 韓国:第37回SEANETコンベンション 2009 in Korea記念, 2009年**

韓国で初めてのSEANETコンベンションが、2009年10月23日から27日までの日程で、首都ソウルで開かれました(本誌2010年1月号p.92参照)。このコンベンションのホストを務めたKLARCのHLIKDW Chaeさんたちが、SEANETのロゴを用いた図案で記念のP切手を作りました(写真8)。

**9. 日本:JAIG Meeting 2010 in Osaka記念, 2010年**

日本で2回目のJAIGミーティングが、2010年3月25日から6日間、大阪国際交流センターで開催されました

(本誌2010年5月号p.160参照)。これを記念して50円と80円の2種類のP切手が作られました(写真9)。

**10. ドイツ:JAIG Meeting 2011 in Goslar記念, 2011年**

2011年5月5日から8日まで、ドイツのGoslarで開かれたJAIGミーティングを記念して、ドイツのメンバーが作ったP切手(写真10)だと、JAIGの主宰者DF2CW 壱岐さんが送ってくれました。

**11. 日本:CQ ham radio 通巻800号発刊記念, 2013年(試作品)**

CQ誌が2013年2月号で通巻800号となりましたが、それを記念して50円と80円のP切手を、筆者が提案用として試作しました。50円切手を貼った記念のカバーは、本誌の編集部において800号発行日の1月19日に、豊島郵便局の風景印を押印していただきました(写真11)。 ©Q



# アマチュア無線の切手

## その17 アマチュア無線に関する「地方切手」

日本郵趣協会(JPS)正会員 **JA3AER 荒川 泰蔵** Taizo Arakawa  
 日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

地方切手の定義はいろいろあるかもしれませんが、一般には一つの国全体に通用する切手ではなく、一地方の公式機関または特定の会社が、その地方の特定のルートだけに通用させるために発行した切手とされています。日本で最近発行されている「ふるさと切手」も、最初は地方切手と呼ばれていましたが、これは全国で通用する切手です。

今回紹介する切手は、たまたま英国関係だけになりましたが、このほかにもアマチュア無線に関係した地方切手があるかもしれません。

### 1. Isle of Pabay (英国) : GM0PNS運用記念(1992)

Isle of PabayはスコットランドのIsle of Skyeの北にある小さな島(IOTA番号:EU-008)で、1962年から島独自の切手を発行しています。写真1の切手は、1992年にこの島でGM0PNSを運用した記念に発行された



写真1(a) Isle of Pabay (英国) : GM0PNS 運用記念切手(1992)

表1 アマチュア無線に関する「地方切手」の一列

番号	国	地方	発行目的	発行日	額面
No.	Country	Local	Purpose of Issue	Issue Date	Face Value
1	U. K.	Isle of Pabay	GM0PNS 運用記念 IOTA EU-008	1992	50 p
2	U. K.	Isle of Pabay	2S0PNS 運用記念 IOTA EU-008 1999.06.01 - 05	1999.06.01	50 p
3	U. K.	Inchmarnock Island	GM3VLB/P 運用記念 IOTA EU-123 1999.07.23 - 25	1999.07.23	£1.00
4	U. K.	Inchmarnock Island	GM3THV/P 運用記念 IOTA EU-123 1999.07.23 - 25	1999.07.23	£1.00
5	U. K.	Flannan Island	GM3VLB/P 運用記念 IOTA EU-118 1999.08.24 - 27	1999.08.28	£1.00
6	U. K.	Patriot Hills, Antarctica	VP8NJS ミレニアム南極探検記念 1999.10 - 2000.02	2000.01.01	\$5.00

もので、上部には「GM0PNS」のコールサインが描かれ、その下は、島の形とそれを囲む円形の外周に「AMATEUR RADIO」の文字と八木アンテナを描いています。

この切手を貼った郵便物は本土(英国)の郵便局に運ばれ、そこから宛先に配達されることになるので、英国の切手が別に貼られています。GM0PNSは常設局ではなく、G3LWM Jeffさんが特別に運用したようです。

### 2. Isle of Pabay (英国) : 2S0PNS運用記念(1999)

上記と同じ島から1999年に2S0PNSを運用した記念に発行された切手で、島の図形の中にコールサインのほか、IOTA番号などが描かれています(写真2)。この実通はIsle of Pabayの初日印が押され、英国の50p切手にも同日付の消印があります。

その後、この島からは、2002年6月にGQ0PNSの特別コールサインの£2切手や、2003年6月10日に5MHz帯のAmateur Radioを運用した記念切手のほか、2011年4月29日にはGR0PNS特別コールサインの£1切手などが発行されています。

### 3. Inchmarnock Island (英国) : GM3VLB/P運用記念(1999)

Inchmarnock Islandは、スコットランドのIsle of Buteの北にある小さな島(EU-123)です。写真3は、この島から1999年7月23日～25日まで運用したGM3VLB/Pを記念した切手で、島の形が描かれています。

GM3VLB/Pは1988年に2.のIsle of Pabayで運用し、そのときにも記念切手を発行しているため、その後の島々からの地方切手の発行は、このときに思いついたものかもしれませ

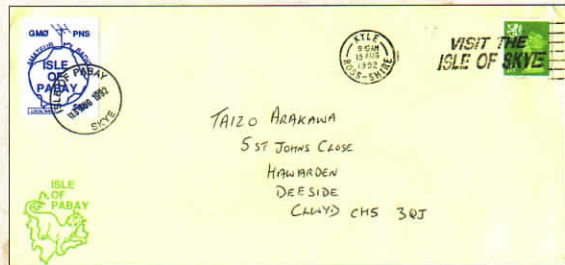


写真1(b) Isle of Pabay(英国) : GM0PNS 運用記念切手貼付実通



写真2 Isle of Pabay(英国) : 2S0PNS運用記念切手貼付実通FDC





写真3(a) Inchmarnock Island(英国) : GM3VLB/P運用記念切手(1999)



写真3(b) Inchmarnock Island(英国) : GM3VLB/P運用記念切手FDC

ん。QRZ.COMによると、GM3VLB Andreさんは1938年にスコットランドで生まれ、父がスコットランド人、母がフランス人のバイリンガルだそうです。

#### 4. Inchmarnock Island(英国) : GM3THV/P運用記念(1999)

上記3.と同じ島から同じ日に発行されているので、GM3THV Dr.R.D. Harkessさんが、GM3VLB Andreさんと2人でこの島から運用し、3.とは別に記念切手を発行したものと思わ

れます。図案は3.と同じように島の形を描いたもので、コールサインだけが違っています(写真4)。このGM3THV Harkessさんも切手の蒐集家です。

#### 5. Flannan Island(英国) : GM3VLB/P運用記念(1999)

Flannan Islandは、スコットランドのIsle of Lewisの西32kmに浮かぶ小さな島(EU-118)で、1999年8月24日~27日までこの島から運用したGM3VLB/Pを記念した切手です(写真5)。



写真5(a) Flannan Island(英国) : GM3VLB/P運用記念切手(1999)

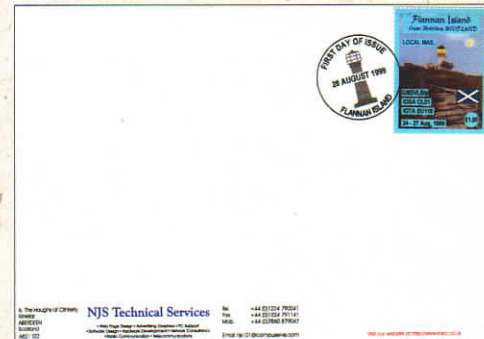


写真5(b) Flannan Island(英国) : GM3VLB/P運用記念切手FDC



写真6(a) Patriot Hills, Antarctica(英国) : VP8NJS ミレニアム南極探検記念切手(2000)



写真6(b) Patriot Hills, Antarctica(英国) : VP8NJS ミレニアム南極探検記念切手FDC



写真4 Inchmarnock Island(英国) : GM3THV/P運用記念切手(1999)

スコットランドの西岸には多くの島々があり、St.Kilda島から2000年7月にGM5KのコールサインでDXペディションを行ったときや、またTarnsay島から2000年8月にGM3VLBを運用したときにも、それを記念してその島の地方切手を発行しています。

#### 6. Patriot Hills, Antarctica(英国南極地域) : VP8NJS ミレニアム南極探検記念(2000)

スコットランドのGM6GMZ Niall J.Saundersさんが運用したとされる、南極でのVP8NJSを記念して発行された切手です。QSLカードにはQSL ManagerとしてGM3VLBとあるので、この切手は彼のアドバイスによって制作されたものと思われる(写真6)。

どこの国にも属さない南極で、なぜこのような切手があるのか疑問を抱いていたのですが、ある店で英国南極地域の紙幣を見つけ、切手だけでなく貨幣まであるのかと驚きました。入手後気づいたのですが、一連番号が599です(写真7)。なぜか切手も紙幣もポンドではなくドルが単位です。



写真7 参考: 英国南極地域5ドル紙幣(2011)



# アマチュア無線の切手

## その18 アマチュア無線に関する「記念カバー」

公益財団法人 日本郵趣協会 (JPS) 正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 *Taizo Arakawa*  
日本アマチュア無線郵趣同好会 (JAHSS) 会員

記念切手が発行されるほど大きな記念やイベントでなくても、自分で考えたP切手や、それらの切手を使った記念カバーを過去に紹介してきました。今回はそういった切手がなくても、通常切手や入手可能な特殊切手などを使って、記念カバーを作っている事例を紹介します。

### 1. ノルウェー： 北極地域・ヤン・マイエン島 (JX) DXペディション記念 (1981年)

1.~3.の3種のカバーは、1981年にノルウェー領北極地域の島々へDXペディションを行ったときの記念カ

バーです。ヤン・マイエン島は373km<sup>2</sup>の火山島で、ノルウェー軍とノルウェー気象局の要員が駐在するものの定住者はいないといわれていますが、このヤン・マイエン島の記念カバー(写真1)には、「JAN MAYEN局1981年10月9日付」の消印があります。消印には、北緯71度00分54秒と緯度が書かれているのが興味深いですね。

### 2. ノルウェー： 北極地域・スヴァールバル諸島 (JW) DXペディション記念 (1981年)

上記と同じ年に行われた一連のDXペディションのスヴァールバル諸島の

記念カバー(写真2)です。「ISFJORD RADIO局1981年12月14日付」の消印があり、これにも北緯74度30分と緯度が書かれています。消印のISFJORD RADIO局は、この島の通信サイト内にある郵便局と思われます。

### 3. ノルウェー： 北極地域・ビュルネイ島 (JW) DXペディション記念 (1981年)

英語名ではBear Islandと呼ばれる、面積がわずか178km<sup>2</sup>の絶海の孤島で、自然保護区に指定されています。測候所の職員が住むだけといわれるこの島に郵便局があるのか疑問ですが、ビュルネイ島のDXペディションの記念カバー(写真3)には、「BJØRNØYA局1981年12月21日付」の消印があり、これにも北緯74度30分と緯度が書かれています。

### 4. 豪領南極地域： 南インド洋・ハード島 (VK0JS) DXペディション記念 (1983年)

世界遺産に登録された、オースト

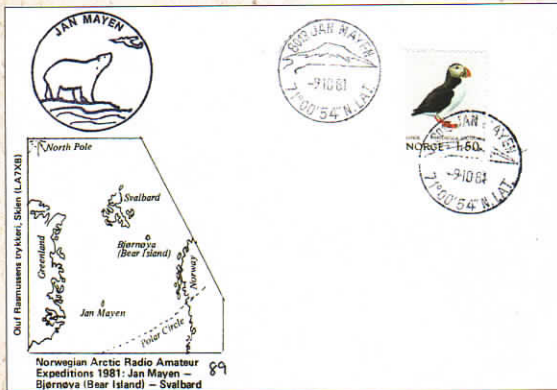


写真1 ノルウェー：北極地域Jan Mayen Island DXペディション記念カバー(1981)



写真2 ノルウェー：北極地域Svalbard Islands DXペディション記念カバー(1981)

記念カバー(写真2)です。「ISFJORD RADIO局1981年12月14日付」の消印があり、これにも北緯74度30分と緯度が書かれています。

表1 アマチュア無線に関する「記念カバー」の一例

番号 No.	国 Country	作成目的 Purpose	消印局 Post Office	消印年月日 Date
1	Norway	ノルウェー領北極地域 Jan Mayen Island DXペディション記念	JAN MAYEN	1981.10.09
2	Norway	ノルウェー領北極地域 Svalbard Islands DXペディション記念	ISFJORD RADIO	1981.12.14
3	Norway	ノルウェー領北極地域 Bjørnøya Island DXペディション記念	BJØRNØYA	1981.12.21
4	Australia	南インド洋 Heard Island DXペディション記念	KINGSTON TAS.	1983.01.05
5	Japan	アマチュア衛星JAS-1打ち上げ記念	鹿児島・南種子	1986.08.13
6	Japan	アマチュア無線再開50周年記念行事開催記念	大阪・天王寺	2002.08.09
7	Malaysia	SEANETコンベンション2012 in KL参加記念	SENTUL, KL	2012.11.22

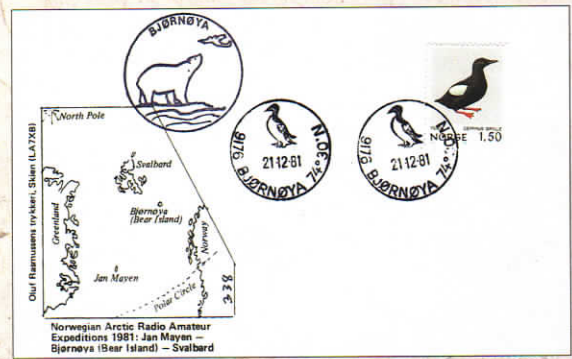


写真3 ノルウェー：北極地域Bjørnøya Island DXペディション記念カバー(1981)



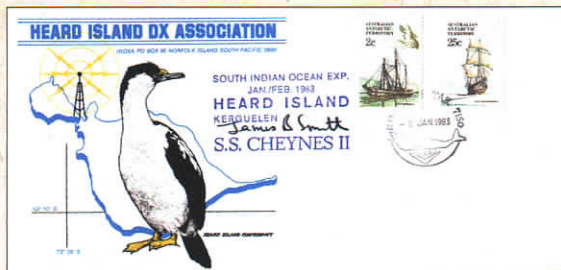


写真4(a) 豪領南極地域：南インド洋 Heard Island DXペディション記念カバー(1983)

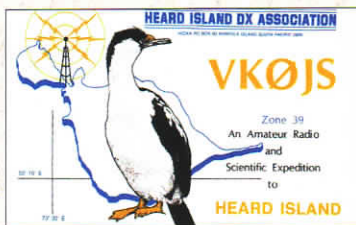


写真4(b) VKØJSのQSLカード(Tnx JA3UCO)



写真5(a) 日本：アマチュア衛星JAS-1打ち上げ記念カバー(1986)



写真5(b) アマチュア衛星JAS-1打ち上げ記念テレホンカード

ラリア領ハード島も絶海の孤島です。1983年に行われたDXペディションの記念に、隊長のVK9NS James B. Smithさん(故人)の署名入りのカバーが作られました[写真4(a)]。

ハード島には郵便局がないので、豪領南極地域の切手を貼って、タスマニア島の「KINGSTON局1983年1月5日付」の消印が押されています。この消印には下のほうにANAREという文字が見えますが、これはAustralian National Antarctic Research Expeditionの略ですから、VKØJSのQSLカード[写真4(b)]にある、Scientific Expeditionのための特別な消

印かもしれません。

### 5. 日本： アマチュア衛星JAS-1 打ち上げ記念(1986)

JARLのアマチュア衛星第1号(JAS-1)が、1986年8月13日にNASDA種子島宇宙センターから打ち上げられたときの記念カバーです[写真5(a)]。

JARLはこのJAS-1のための寄付を募り、感謝状と共に純金箔のテレホンカード[写真5(b)]などを配布しました。最近あまり使われなくなったテレホンカードですが、コレクターは多いですね。

### 6. 日本： アマチュア無線再開 50周年記念行事開催記念(2002年)

大阪国際交流センター ラジオクラブ(JI3ZAG)が主催して2002年8月9日から2日間、大阪国際交流センターで開かれた、アマチュア無線再開50周年記念行事開催の記念カバーです[写真6(a)]。アマチュア無線の

アマチュア無線再開50周年記念行事  
ハムの国際交流とボランティア活動



写真6(a) 日本：アマチュア無線再開50周年記念行事開催記念カバー(2002)

写真6(b) アマチュア無線再開50周年記念行事に参加した5人のAAさんたち  
左からJA3AA 島さん、JA1AA 庄野さん、JA5AA 久米さん、JA9AA 円間さん、JA0AA 阿部さん



写真7  
マレーシア：  
SEANETコンベンション  
2012 in KL  
参加記念カバー(2012)

歴史を語る種々の資料が展示され、筆者も「アマチュア無線の切手」を出展しました。2日目の8月10日には会場で恒例の「807昔を語ろう会」が開かれ、参加した5人のAAさん[写真6(b)]にお願いして、記念のカバーにサインをいただきました。JA3AA 島さんは惜しくも昨年亡くなれましたが、このカバーは思い出が残る貴重なものです。

### 7. マレーシア： SEANETコンベンション 2012 in KL参加記念(2012年)

マレーシアの首都クアラルンプールで、昨年開催されたSEANETコンベンション参加の記念カバーです(写真7)。出発時に関西空港の郵便局で風景印を押印し、コンベンション会場の近くの郵便局で、マレーシアの国花ハイビスカスの切手を買って押印してもらいました。今年のコンベンションは横浜です。皆さんも独自の記念カバーを作ってみてください。©Q



# アマチュア無線の切手

## その19・[最終回] アマチュア無線切手の今後の楽しみ方

公益財団法人 日本郵趣協会(JPS)正会員 JA3AER 荒川 泰蔵 Taizo Arakawa  
日本アマチュア無線郵趣同好会(JAHSS)会員

2012年1月号から、CQ ham radio 通算800号記念号を挟んで、先月号まで18回にわたり「アマチュア無線の切手」を紹介してきましたが、この連載は今回で終わりになります。

### 1. 「アマチュア無線の切手」に絞った蒐集

今まで紹介した切手がすべてではありませんが、「アマチュア無線の切手」に絞るとそれほど多くなく、過去に発行された切手やこれから発行される切手を蒐集するのは、本格的な郵趣家でなくても、アマチュア無線家として興味のあることと思います。

それにはその1(2012年1月号)で紹介した「純アマチュア無線の切手一覧表」や、その8からその12まで(2012年8月号～12月号)で紹介した「準アマチュア無線の切手一覧表」などが役立つでしょう。

とはいうものの、これらの切手は容易に見つからず時間がかかりますので、興味を持続するために、その16(2013年4月号)で紹介した「Pスタンプ」や、その18(2013年6月号)で紹介した「記念カバー」を作ってみるのも楽しいかもしれません。

### 2. 「無線通信」、「電気通信」、「通信」と範囲を拡大する

もし、時間とお金に少し余裕があれば、「アマチュア無線」から「無線通信」に範囲を拡大してみてもいいでしょう。「無線通信」でもラジオやテレビ放送の切手となると、世界中でたくさん発行されています。

今年2月13日の「世界ラジオの日」



写真1 国連(NY)：国連放送局で、放送の準備をするオーディエンス・ヘッパーンが描かれている、世界ラジオの日記念切手(2013)

写真2 ルワンダ：炎や音響での通信を描いた、世界通信の日記念切手(1977)



写真3 ダホメ(現ベナン)：手旗信号を描いた、ボーイスカウトの記念切手(1966)

には、国連で6種類の切手が発行されました(写真1)。さらに「電気通信」や単に「通信」と範囲を広げると途方もなく世界が広がり、多くの切手が見つかります。その1で少し触れた「腕木通信」はもちろん、原始的な「炎」や「音響」による通信(写真2)、「手旗信号」による通信(写真3)、太陽光の反射を利用した「光通信」(写真4)など、電気通信以前の通信方法を描いた切手もたくさんあります。

### 3. 逆に「国」や「対象物」を絞って集める

それでは広がりすぎると思われる場合は、その中でも「日本切手」に限ったり、「アンテナの切手」に限るなど、「国」や「対象物」を絞るのも一つの方法です。

1949年5月に東京の百貨店「三越」で開催された「伸びゆく電気通信展」を記念して発行された20円切手の小型シート(写真5)は、日本の電気通信の最初の郵便切手で、アンテナ・タワーが描かれています。アン



写真4 マリ…太陽光を利用した光通信機を描いた、ITU1000年記念切手(1965)



写真5 日本：伸びゆく電気通信展記念切手小型シート、小型記念消印(1949)





写真6 日本：地上テレビ放送の完全デジタル化記念切手FDC(2011)

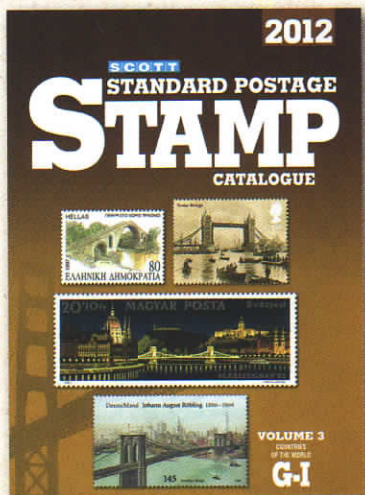


写真9 スコット・カタログ2012年版, 全6巻中の1冊

テナ・タワーを描いた最近の切手では、2011年4月発行の「地上テレビ放送の完全デジタル化」記念切手があります(写真6)。東京タワーとスカイツリーですね。

また、日本にはちょっと変わった「電信切手」と呼ばれる10種類の切手があり、その15銭切手には電信に使われた電池が描かれています(写真7)。これは郵便切手ではありませんが、1885年に電信料金納付のために作られた切手で、まだ無線通信がなかった時代のものです。

電信といえば、ITU加盟75周年を記念して1954年に発行された切手には、電信機が描かれています(写真8)。周囲には和文のモールス符号や鎖孔テープで「国際電気通信連合

加盟75周年記念」と描かれているのも興味深いですね。

#### 4. 切手を調べるには「切手カタログ」が必要

切手の蒐集や、次に述べる作品作りには「切手カタログ」が欠かせません。日本切手の場合は郵趣サービス社発行の「さくら日本切手カタログ」や、日本郵便切手商協同組合発行の「日本切手カタログ」がありますが、外国切手では米国のスコット(Scott)・カタログのほか、英国のギボンズ(Gibbons)、ドイツのミッセル(Michel)、フランスのイペール(Yvert)などが有名です。

日本の切手商の多くはスコット・カタログを使っており、筆者もそれを使っています(写真9)。このカタログは切手が国別に収録されており、全6巻にもなりますが、毎年更新されています。

#### 5. アルバム作りを楽しみ、展示会などに出品して楽しむ

集めた切手をストック・ブックに仕舞い込んでいるだけではおもしろくありません。リーフに貼って説明を加え、アルバムができれば展示会などに出品してみたいはいかがでしょうか(写真10)。そこからまた新しい情報が得られ、コミュニケーションが広がっていくでしょう。



写真7 日本：電信切手15銭(1885)



写真8 日本：ITU加盟75周年記念切手(1954)

### 6. 謝辞(Acknowledgment)

筆者のコレクションにご協力いただき、また連載記事の執筆にご協力いただいた、HB9RS Dr. Max C. deHenseler(2012年3月号の写真5)、故WA1SPM Mr. Donald K. deNeuf, GM3THI Dr. R. D. Harkess, DL4UE Mr. Manfred Bussemer(2012年7月号の写真9)、故JW5NM Mr. Math Bjer-rang, 故W4KFC Mr. Vic Clark(2012年4月号の写真2)、UA9AB Mr. Gene T. Shcumat(2012年9月号の写真10)、HB9DKZ Mr. Hans-Juerg Voegeli, 9W2PD Mr. Rabin Viper, SWL F-15 873 Mr. Aupetit Raymond, LA3BI Mr. Erling Langemyr、三浦正悦氏(2012年5月号の写真9)、JA4HCK 馬場秀雄氏(2013年3月号の写真9)、JA3UCO 細川高志氏(2013年4月号の写真12)、JA3USA 島本正敬氏(2012年10月号の写真13)、CQ ham radio編集部、そのほかの皆さんにお礼を申し上げます。

そして最後になりましたが、読者の皆さん、長期間のご愛読ありがとうございました。◎◎



写真10 切手展の風景

訂正

本連載その17(2013年5月号)に誤りがありました。  
 誤：4. Inchmarnock Island(英国)：GM3THV/P運用記念(1999) → 正：4. Inchmarnock Island(英国)：GM3THI/P運用記念(1999)  
 この見出しに併せて、本文、写真4の説明文、表1も訂正いたします。